

令和2年度

岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書

(令和元年度事務事業対象)

令和2年9月

岩出市教育委員会

はじめに

岩出市教育委員会では、第2次岩出市長期総合計画に掲げたまちづくりの基本方針である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現に向け、学校教育の充実並びに青少年健全育成、生涯学習・スポーツの推進及び文化・芸術の振興に努めてまいりました。

また、令和元年度の主要施策として、「児童生徒の安心安全な環境整備」を掲げ、全小中学校普通教室への空調設備設置事業や新市民プールの運営事業を重点事業として取り組んできたところです。重点事業に加え、その他の施策又は事業についてもその推進に当たっては、各種関係機関・団体等及び地域との連携を強化し互いの顔の見える関係を構築しながら業務取り組んでまいりました。

本報告書は、本市教育委員会の課題や、今後の取組の方向性を明らかにし、教育行政の一層の推進を図るとともに、市民から信頼される教育行政を推進するため、令和元年度に実施した事務事業の点検・評価をまとめたものです。

点検・評価の結果を踏まえ、よりよい教育の実現を目指し、教育行政の充実に努めてまいります。

令和2年9月

岩出市教育委員会

目 次

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について	
1 目的	1
2 実施方法について	1
3 評価項目・内容について	1
4 点検・評価の経過	2
5 教育委員会評価委員	2
6 点検・評価結果	
【教育総務課】	
(1) 学校環境の充実（教育環境の充実）	3
(2) 学校環境の充実（学力の向上）	6
(3) 学校環境の充実（学校給食の充実）	7
(4) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）	8
(5) 健全育成のための環境づくり（青少年をとりまく環境の整備）	9
(6) 健全育成のための環境づくり（青少年活動の推進）	10
(7) 健全育成のための環境づくり（青少年の自立と成長の促進）	11
【生涯学習課】	
(1) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）	13
(2) 健全育成のための環境づくり（青少年をとりまく環境の整備、 青少年の自立と成長の促進）	13
(3) 生涯学習の充実（家庭・地域教育の充実、公民館事業の充実）	15
(4) 生涯スポーツの推進（スポーツ・レクリエーションの振興、 スポーツ事業の充実、スポーツ環境の充実）	16
(5) 文化・芸術活動の活性化（文化活動の推進）	19
(6) 歴史・伝統文化の振興（歴史的文化資源の活用、埋蔵文化財等 の保護・活用、伝統文化の継承）	20
(7) 人権尊重の推進	22
【岩出図書館】	
(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）	23

(2) 図書館事業の充実（子ども読書活動推進事業）	26
---------------------------	----

【民俗資料館】

(1) 文化・芸術活動の活性化（民俗資料館の整備・充実）	29
------------------------------	----

(2) 歴史・伝統文化の振興（歴史的文化資源の活用）	30
----------------------------	----

7 教育委員会の点検・評価シート

【教育総務課】

点検・評価シート	33
----------	----

【生涯学習課】

点検・評価シート	52
----------	----

【岩出図書館】

点検・評価シート	80
----------	----

【民俗資料館】

点検・評価シート	88
----------	----

II 関連資料

○令和元年度教育委員会事務事業評価に関する意見書の提出について	90
---------------------------------	----

○教育委員会評価委員会の教育委員会評価に対する主な意見	92
-----------------------------	----

○岩出市教育委員会評価等実施要綱	95
------------------	----

I 岩出市教育委員会事務の管理及び執行状況の点検・評価の報告について

1 目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、効果的な教育行政の一層の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的として実施する。

2 実施方法について

- (1) 教育委員会事務局の2課（教育総務課・生涯学習課）・2館（岩出図書館・民俗資料館）の令和元年度の主要な事務事業を抽出し、各事業について妥当性、効率性、有効性などについて自己評価を行う。
- (2) 評価委員に（1）の事務事業について、担当職員等が説明を行い、複数回意見をいただく。
- (3) 評価委員の意見をもとに教育委員会が評価を行い、今後の方針・施策に反映させるなど、PDCAのマネジメントサイクルを確立し継続的に事務改善を図る。
- (4) 法律に則り議会へ提出するとともに内容を公表（web）する。

3 評価項目・内容について

- (1) 各事業を、第2次岩出市長期総合計画に基づき【基本施策（重点施策）】ごとにまとめ、施策単位で点検・評価を実施する。構成は、〔基本方針〕〔主な取組状況〕〔指摘事項に対する取組状況〕〔総合評価〕〔評価委員会の意見〕とする。別添で、各課・館毎に評価シートを作成する。
- (2) 評価については、4段階評価とする。
「a：期待以上」、「b：期待どおり」、「c：やや下回る」、「d：期待以下」
- (3) 今後の方向性については、4つの基準を示す。
「廃止」、「見直し」、「完了」、「継続」

4 点検・評価の経過

年 月	会 議 等	内 容
令和2年 6月	事務事業評価（各課・館）	事務事業評価（自己評価）の実施
令和2年 8月	第1回 点検・評価委員会	各事務事業の説明 各事務事業に対する質問・意見
令和2年 9月	第2回 点検・評価委員会	各事務事業に対する意見のまとめ
令和2年10月	10月定例教育委員会	点検・評価報告書のまとめ
令和2年11月	点検・評価報告書を市議会に提出、web公表	

5 教育委員会評価委員

氏 名	職 名
大西 利雄	社会教育委員議長
土生川 政幸	元岩出市立小学校長
松田 晃作	青少年育成市民会議委員長

6 点検評価結果

【教育総務課】

(1) 学校環境の充実（教育環境の充実）

〔基本方針〕

児童・生徒が安全で安心して学校生活を送ることができる教育環境を整備するため、計画的な施設及び教材・教具等の整備に努めるとともに、不登校児童・生徒に対する教育相談体制の充実を図る。

また、生涯にわたる人間形成の観点から、生涯学習の基礎を培い、心身の健全育成と多様な社会環境に適應できる能力を持った児童・生徒の育成に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- いわでアスリートクラブ事業では、陸上競技を通じて、小学校3年生から6年生の児童の心身の健全育成に努めた。
実施回数：30回 登録者数：313名。
実施場所：中央小学校又は大宮緑地総合運動公園。
新規指導者 6名
- 適応指導教室事業では、学校や関係機関と連携を図り、児童・生徒の在籍校への復帰に努めた。
入室児童・生徒数：小学生3名、中学生18名
(上記以外に、体験小学生1名、中学生5名)
延べ日数：小学生15日、中学生708日
来所相談者：2名 電話相談件数：3件
学校との電話連絡：331件、家庭との電話連絡：79件
※H30.1～スクールカウンセラーの配置継続
- 特別支援教育就学奨励費扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。
小学校：84名 中学校：18名
- 要保護・準要保護児童・生徒扶助事業を実施することにより、保護者の負担軽減に努めた。また、修学旅行費の事前支給を行い、保護者負担の軽減に努めた。
小学校：338名（要保護 3名含む）
中学校：222名

- 小・中学校の補修工事については、優先順位により計画通り事業を実施し、児童・生徒の安全確保に努めるとともに、耐用年数の延長を図った。
また、補助金を活用した下水道接続工事やトイレの改修工事も順次計画的に進めている。
- 各小中学校普通教室等空調設備設置事業については、冷房設備対応臨時特例交付金を利用し、令和元年度9月1日までに全校で工事完了し、9月2日（夏休み明け）から、児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就業環境を提供することができた。
- 通学路整備工事については、各学校より危険箇所の報告を受け、関係機関（学校、PTA、教育委員会、土木課、警察署、振興局）等の合同点検を実施し、改修工事を施工した。
- 教材・教具等の整備については、小・中学校とも、計画に基づき購入することができた。図書については、岩出図書館からの司書や学校ボランティアの意見を参考に選書することができ、類別の偏りが少なくなってきた。また、すべての小・中学校の蔵書数が標準冊数に達している。
- 紀の国緑育推進事業については、実体験だけでなく、学習効果を高めるための事前及び事後学習を行なった。
参加児童数：502名 場所：日高川町 日高川ふれあいドーム
- 外国青年招致事業については、小学校では英語以外の授業についてもALTの活用を図ったため、日常生活での児童の国際意識に高揚が見られた。
中学校においても教職員と協調し、生徒と朗らかに接することができ、授業だけでなく、その他の活動においても英語でのコミュニケーションが図られた。
中学校ALTについては4年目の就業について引き続き希望する意思があることを確認した。小学校ALTについては令和2年9月までの希望であるため、後任のALTを任用する必要がある。
- 教育情報化推進事業については、ICT機器の導入を岩出市教育情報化推進計画に基づき計画的に導入をしていく。
国の動向が大きく変わり、補助金を活用した校内LANの整備及び児童生徒一人一台PCを目標とした段階的整備に向け推進計画の見直しが必要である。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

入学準備金の事前給付の実施について検討を行い、令和3年入学児童生徒から支給できるよう予算措置を行った。

小学校施設改修事業ではトイレの長寿命化も含め乾洋式化改修を1校で

実施した。

教材・教具の整備については、国の GIGA スクール構想に基づき岩出市教育情報化推進計画を順次見直しながら ICT 機器の整備を進めている。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実(教育環境の充実)については、12事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が11事業、「完了」が1事業と評価し、今後の方向性は11事業を「継続」とした。
- いわでアスリートクラブ事業については、参加率の向上のために練習中にこまめな水分補給の小休憩をとり、大型扇風機を購入した。実施回数は例年より少なかったが、のべ参加者数は増加し参加率の向上につながった。
- 適応指導教室事業については、学校以外の学習の場・居場所として学校、家庭に加え、関係機関との連携強化を図った。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用し、家庭からの相談にも対応している。また、適応指導教室に通室できない不登校児童生徒に対して訪問支援員とタブレット端末を活用した新しい学習支援についても定着をはかりたい。
- 小・中学校施設改修事業については、補修工事、環境整備工事の実施により教育環境の整備が図れた。突発的な修繕が必要なケースも増え、今後はより精度の高い修繕計画や長寿命化計画の策定が必要である。
- 通学路整備事業については、児童・生徒の安全確保を図るために必要な事業であり、学校の危険箇所調査や地域住民からの要望を年度当初に集約し、早期に関係機関による合同点検日を設定する必要がある。
- 紀の国緑育推進事業については、自然と触れ合う機会が減少している現代の児童にとって貴重な体験ができる事業であり、林業や環境への興味・関心を高めることができた。
- 外国青年招致事業については、ALT自身が研究熱心であり、小学校教諭中学校英語科の教師と連携し外国語教育の充実に努めた。また、新学習指導要領により、小学校で外国語科が実施されるにあたり、教諭とALTの打ち合わせ時間の確保が課題である。

〔評価委員会の意見〕

- いわでアスリートクラブ事業については、コロナ禍で感染防止対策を講じながらの運営となるが、小学生が楽しんで運動できるよう取組を進めていただきたい。
- 適応指導教室事業については、多様化する通室児童生徒の状況に幅広く

対応できるよう、訪問支援員とタブレット端末を有効活用していただきたい。

- 要保護・準要保護児童・生徒扶助事業については、入学準備金の事前支給が予算化されるなど更なる内容の充実が図られている。今後も国の基準を注視し、扶助内容の充実に努められたい。
- 小・中学校施設改修事業については、地域に開かれた学校運営と併せて成果が市民に見える事業である。公共下水道への接続やトイレの洋式化など、今後も教育環境の整備を計画的に進められたい。
- 外国青年招致事業については、小学校での英語教育の充実のためにも継続して小学校に配置されるよう努められたい。
- 教育情報化推進事業については、今後急速に進んで行く教育の ICT 化に計画的に対応するとともに、ハード面の整備だけでなく教職員の研修と児童生徒への情報リテラシー教育の充実に努められたい。

(2) 学校環境の充実（学力の向上）

〔基本方針〕

「生きる力」を育むため、個人の尊厳と個性の尊重という基本的な考えに立ち、一人ひとりの能力と個に応じた教育実践に努めるとともに、教職員の資質向上を図る。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 学力向上実践研究事業により、小中学校教職員を先進校に派遣し、教職員の指導力向上を図り、学んだことを自校及び市教職員研修会で伝達・還元した。各校の教育課題に合わせ自校で先進校を選定するようにした。また、ICT機器の導入にあたり、各校からの代表者が先進校を視察する事ができた。

大阪市立大空小学校訪問	小学校教諭	8名
京都市立下鴨中学校訪問	中学校教諭	6名
大阪市立阿倍野小学校訪問	小学校教諭	6名
大阪市立大和田小学校訪問	小学校教諭	6名
大垣市立北小学校訪問	小学校教諭	2名
筑波大学附属小学校訪問	小学校教諭	1名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

小学校では、各校での学習習慣の確立と授業改善が進み、学力調査にお

いても全国平均を上回る結果を出せた。小中学校の連携をさらに進め、中学校においても授業改善と生徒の学習意欲の向上に努める。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（学力の向上）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学力向上実践研究事業については、先進校を視察した教職員の指導力向上となった。今後、ICT 機器導入に関して、機器を適切に使用した授業が展開できるよう、視察者の授業改善だけに留まらず、自校及び市内各校への内容の伝達・還元が進むよう、授業等の公開を積極的に行う。
 後は、各種調査の数値を向上させ、教員はもちろん児童生徒も改善の実感を持てるような結果を出すことを目標とする。

〔評価委員会の意見〕

- 学力向上実践研究事業については、各校の課題に合わせた先進校を視察して学ぶことも大切であるが、研修成果を自校の教育活動にどう生かし実践しているかを検証することも考慮されたい。

(3) 学校環境の充実（学校給食の充実）

〔基本方針〕

地産地消率の向上に努め、栄養バランスのとれた安全で安心な学校給食を提供する。

また、学校給食費の完全徴収を目標に、児童手当からの徴収をはじめ、学校と連携しながら学校給食の運営に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 学校給食については、学校給食費の改定について学校給食の現状と値上げした場合の献立資料をもとに学校給食運営委員会において審議を行った。広く市民にも意見募集を行い、改定を決定した。
 給食費の徴収については、学校と連携を図るとともに児童手当からの徴収を行い、現年度の徴収率は昨年度より上回った。
 地産地消の推進 旬の野菜30品目使用 地産地消率64.1%
 (H30:旬の野菜27品目使用 地産地消率59.0%)
 徴収率(現年度)99.69%(H30(現年度)99.62%)

(過年度) 72.27% (H30 76.90%)

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

給食費の値上げについては、学校給食運営協議会でしっかりとした協議を行うため、各学校のPTAやパブリックコメントによる意見聴取も行った。栄養教諭による食育の充実は、希望のある学校だけでなく積極的に出前授業の周知を行った。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（学校給食の充実）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校給食については、地元産の食材を取り入れ、栄養バランスのとれた献立を提供したが、給食費改定に見合う献立内容の充実と地元産の食材を使用した安心で美味しい献立をさらに推進する。
- 給食費の徴収については、特に現年度の完全徴収の強化に努める必要があることから、より一層学校との連携を図り滞納気味な家庭には、児童手当からの徴収同意など、徴収率の向上に努めるとともに、再三の督促等に応じられない家庭には、裁判所への申立を行うなど、完全徴収に向け取り組んだ。

〔評価委員会の意見〕

- 給食費の値上げについては、広く意見を聴取し協議を重ねて決定したとのことだが、値上げに見合う献立内容の充実や食品ロスに対する取組（残食の削減等）に努められたい。

(4) 学校環境の充実（家庭・地域との連携）

〔基本方針〕

学校・家庭・地域及び行政が連携を密にし、学校外の方々の意見を学校運営に取り入れるとともに、学校から地域に対して積極的に情報を発信することにより、開かれた学校づくりに努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- コミュニティスクール事業については、市内全小中学校8校が、学校運営協議会を設置し、先行実施2校の取組を参考に地域と共にある学校づくりに取り組んだ。市主催研修会を実施し、学校関係者、保護者や地域の方にも参

加いただいた。また、県内のコーディネーターから学校運営協議会設置から運営に至るまでの講話を聞くことができた。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

学校運営協議会の設置と委員の確保は、平成30年度末から準備していたので、各校で4月に委員を任命し5月に第1回学校運営協議会が開催できた。引き続き、学校の活動を支援していく。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実（家庭・地域との連携）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」と評価し、今後の方向性は「継続」とした。
- コミュニティスクール事業については、学校運営協議会の議題等各校への情報提供、研修会の実施を充実させる。国・県の補助金が令和元年度で終了したので、研修会参加費用や活動に必要な費用について予算化が必要である。

〔評価委員会の意見〕

- コミュニティスクール事業については、生涯学習課が所管する学校支援地域本部事業と連携して、各学校からの要望を実現できるよう各学校の運営協議会の開催が活発化するよう努められたい。

(5) **健全育成のための環境づくり（青少年をとりまく環境の整備）**

〔基本方針〕

学校・家庭・地域及び行政が一体となり、子どもたちが安心して安全に学校生活を送れるよう、青少年への犯罪防止に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 登下校時の危険防止のため、児童携帯用防犯ブザー購入費を補助し、防犯ブザーの携帯を奨励した。各家庭で入学前に個人で購入していたりして、申請率は僅かな伸びにとどまっている。また、防犯グッズの所持率は学年が上がるにつれ低くなっている。

182名分を補助	申請率38.4%	(昨年比 +6.9%)
防犯ブザー所持率	小学生61.3%	(昨年比 +1.2%)
	1年生79.3%	(昨年比 +4.6%)

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

所持率の向上を図るため、本事業の周知徹底を各学校に個別に行った。
防犯ブザーを含めた防犯教育も各校で取組を要請した。

〔総合評価〕

- ◎ 健全育成のための環境づくり(青少年をとりまく環境の整備)については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 防犯ブザーの所持率は毎年少しずつではあるが、向上しており本事業の果たす役割は大きいと考える。申請率は低いが、小学1年生の所持率は向上しているため、正しい携帯の仕方や点検の啓発と共に、引き続き本事業の周知に努める。

〔評価委員会の意見〕

- 児童携帯用防犯ブザー補助事業は、登下校時における児童の安全を確保するために必要であることから、更なる事業についての周知に努めるとともに、所持方法や動作確認などの啓発にも努められたい。

(6) **健全育成のための環境づくり(青少年活動の推進)**

〔基本方針〕

防災意識が高まる中、被災時には地域の救援活動の核となるであろう中学生に対し、実践的な防災訓練を実施するとともに、家庭・学校・地域などで防災に関する啓発や指導のできる人材を育成する。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 中学校防災訓練については、災害への危機意識を高める授業の一環として、中学3年生全員を対象として、那賀消防組合、市消防団等の協力を得て実施した。
岩出中学校：256名 岩出第二中学校：256名。
- 防災ジュニアリーダー育成事業については、中学生の希望者を募り、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署の協力を得て実施し、防災の啓発・指導・実践活動ができる防災ジュニアリーダーの育成を行なった。
防災ジュニアリーダー 25名
市地域防災訓練への参加 17名

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

中学校防災訓練では、内容を一部変更するなどして生徒が積極的に参加できるように各機関・団体との打合せをしっかりと行った。

〔総合評価〕

- ◎ 健全育成のための環境づくり（青少年活動の推進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 中学校防災訓練については、災害発生時には中学生の果たす役割が大きいことから、応急処置、心肺蘇生法に加えマンホールトイレの利用法など岩出市の実情に合わせた訓練を行い、防災意識の拡大を図った。
- 防災ジュニアリーダーについては、育成講座で学んだ知識を活用し、市地域防災訓練への参加や翌年（前年度受講生）の防災訓練でのリーダーとして活動した。

小学校においては、自助を最優先に考え、各校で避難訓練・引き渡し訓練の充実を図った。

〔評価委員会の意見〕

- 中学校防災訓練や防災ジュニアリーダーについては、災害に対する意識を高め、有事の際に必要な技能を身に付けるなど居住地域でリーダーとして活躍できる生徒の育成に引き続き努められたい。

(7) **健全育成のための環境づくり（青少年の自立と成長の促進）**

〔基本方針〕

望ましい勤労観、職業観の育成のために、生徒が直接働く人と接し実際的な知識や技術・技能に触れることを通して、学ぶことの意義や働くことの意義を理解し、生きることの尊さを実感させる。

また、生徒が主体的に進路を選択決定する態度や意志、意欲を培うための教育活動として充実を図る。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、平成29年度から、職場体験に臨む前にマナー教室を実施することで、社会人としての心構えやマナーを身につけた。体験先での安心確保のため、保険内容の充実を図った。

R1

(H30)

岩出中学校

221名

71事業所

(247名 76事業所)

岩出第二中学校 245名 103事業所 (253名 70事業所)

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

職場体験については、那賀地方の中学校担当で情報交換を行い、受け入れ事業所の確保を行った。一方で、責任を持って体験を行うために生徒に必要な事前指導も充実させた。

〔総合評価〕

- ◎ 健全育成のための環境づくり（青少年の自立と成長の促進）については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 事業所の協力を得て中学2年生を対象に3日間の職場体験を実施し、生徒に勤労観及び職業観を身に付けさせることができた。今後は、事前・事後活動をしっかり教育課程に組み込み、キャリア教育の視点で生徒にも目的意識をもって活動させることがより求められる。

〔評価委員会の意見〕

- 和歌山を元気にする職場体験事業については、生徒の興味関心に沿った体験活動ができるよう、幅広い職種の受け入れ事業所の確保に努められたい。また、生徒には事業の目的をしっかりと達成できるよう、事前・事後学習の充実に努められたい。

【生涯学習課】

(1) 学校環境の充実

〔基本方針〕

学校、家庭、地域が一体となって子どもの育ちや学びを支えるため、学校支援、学習支援、校内環境整備など学校支援ボランティアによる取り組みを推進する。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 学校支援地域本部事業については、学校支援ボランティア募集チラシ配布、新たな協力者の募集を行うとともに、根来小学校における家庭・地域の方々による授業補助やゲストティーチャー、小学校芝生の管理などの活動を支援した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

学校支援地域本部事業については、各学校にコミュニティスクールの設置に向けた地域のコーディネーター、ボランティアの人材確保ができなかったため、根来小学校、山崎北小学校等の状況に詳しい前任者に教授してもらい、令和2年度後半からプロジェクトチームを立ち上げ進めていく予定である。

〔総合評価〕

- ◎ 学校環境の充実については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待以下」で、今後もコミュニティスクールとの連携や、根来小学校における学校・家庭・地域が一体となった学校支援活動の支援に努める。

〔評価委員の意見〕

- 学校支援地域本部事業については、段階的に全学校へ地域のコーディネーター、ボランティアの人材確保を行うとともに新型コロナウイルス感染防止対策を実施したうえで、地域と保護者と学校の連携強化に努められたい。

(2) 健全育成のための環境づくり

〔基本方針〕

青少年健全育成に関わる各種団体の活動の充実と各組織との連携強化に努め、学校・家庭・地域及び行政がそれぞれの果たす役割を明確にし、青少年を取り巻く様々な問題について取り組み、子どもの育つ環境を守るとともに、地域社会を形成している大人に対しても、青少年の健全育成に対する重要性や意識の向上に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 青少年健全育成事業については、「青少年育成市民会議」をはじめ、青少年が心豊かに成長することを願う各組織の強化・充実を図った。また、「あいさつ運動」、「見守り活動」、「子ども安全パトロール隊」などの活動を通じて、青少年の取り巻く環境の安全確保を図った。

他にも、青少年センターでは、青少年の健全育成及び非行防止として、不良行為の早期発見、早期指導、補導活動、少年相談、立ち直り支援などに努めた。

- 成人式事業については、新成人を励ますとともに、大人となったことの自覚を促すため、成人式を開催した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

青少年の健全育成を図るため、様々な分野から働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組んだ。

本部役員については、再任の方がほとんどで、若返りを図れなかった。

〔総合評価〕

- ◎ 健全育成のための環境づくりについては、2事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」であり、今後も、学校・警察・青少年センター及び家庭・地域関係団体等が行政と一体となって、青少年が健やかに育つ環境づくりに努める。また、成人式を開催し、大人となったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。

〔評価委員の意見〕

- 青少年健全育成事業については、家庭、学校、地域、行政が連携して安全な環境を目指し、若いリーダーの育成に努められたい。

- 成人式事業については、2022年4月成人年齢引き下げに伴い、成人式のあり方を検証されたい。

(3) 生涯学習の充実

〔基本方針〕

市民一人ひとり生きがいを持って、人生を送ることのできる活力あるまちづくりを進めるため、学習者の主体性を尊重し、「いつでも、どこでも、誰でも学べる」、「共に生き、共に学ぶ」ことができる環境づくりに努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 放課後子ども教室推進事業については、子どもたちの安全・安心な居場所づくりのため、小学校の空き教室等を利用して、地域の方々の参画を得て、学習活動・文化活動を通して、地域住民との交流活動に取り組んだ。

6小学校で75教室、参加児童延べ人数は5,409名。

- 生涯学習を考えるつどい事業については、文化祭の前夜祭として、コンサートを実施した。今後人数集約するにあたり市民へのPRの仕方が課題である。

生涯学習を考えるつどい 箏アンサンブル「ふわり」

～箏と尺八で綴る邦楽コンサート～

参加者数 351名

- 公民館事業（ふれあい・成人・家庭教育）については、市民一人ひとりが生涯学習の各過程において、適切に学習できる「場」と「機会」を提供し、あらゆる世代に親しまれる事業を実施した。

成人講座は、10講座、受講者数は延べ988名。

ふれあい学級は、11講座、受講者数は延べ1,754名。

家庭教育学級は、10か所（保育所（園）、幼稚園、子ども園）、受講者数は972名。

今後、市民の学習ニーズに対応した講座メニューを提供していくが、講演会講師等の選定においてより良い事業となるよう努めてまいりたい。

- 公民館教室事業は、学習機会と市民のふれあいの場を提供するため、ア

ンケート調査を実施し、年間を通して市民の学習ニーズのある教室を開催した。

文化教室は、15講座、受講者数は276名。

パソコン教室は、2教室、受講者数は31名。

- 地区公民館運営事業については、文化協会活動など市民の自主的な活動を支援するため、公民館8館の管理運営を実施した。施設の安全や快適性の確保と、管理人の能力向上が図れるよう随時ミーティング等を実施し、指導を行った。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

各種教室の運営については、人気の教室に類似した教室を増やすなど内容の見直しや講師の確保を行った。健康づくりに希望が多いため、令和2年度は新たに2教室の体操系の教室を企画した。

これまで生徒数の確保を目標としてきたが、今後は安全安心な教室運営と3密防止の取組を考慮し、コロナ禍で実施していくための取組が必要となってきた。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯学習の充実については、5事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」が5事業で、今後の方向性は5事業全て「継続」であり、今後も市民の自主的な文化活動を支援するとともに、教室や講座等の事業の必要性や有効性等を常に検証しながら事業展開を図っていく必要がある。

〔評価委員の意見〕

- 放課後子ども教室推進事業・公民館事業については、講座の内容、講師等を十分検討したうえでよりよい事業となるよう取り組むとともに新型コロナウイルス感染防止対策に努められたい。

(4) 生涯スポーツの推進

〔基本方針〕

市民一人ひとりがライフステージに応じた生涯スポーツ社会の実現に向け、スポーツを通じての体力づくり・健康づくりに親しむことのできる環境づくり

に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

○ スポーツ推進委員会運営事業については、委員による各種スポーツ大会等の運営及びニュースポーツ教室を開催した。

○ スポーツ少年団等助成事業及び体育協会助成事業については、市民の健全な体育及びレクリエーションの振興、青少年の健全育成のため、補助金を交付した。

スポーツ少年団 18団

体育協会 21協会（60団体）

スポーツ少年団の団員数は、増加傾向にあるものの目標の1,000人には達しておらず、関係機関との連携を図り、募集期間を延ばすなどスポーツ離れが進まないよう努める。

○ 大会等選手派遣補助事業については、スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助した。

全国大会は12件、近畿大会は3件、県大会は11件の計26件。

○ スポーツ・レクリエーション事業については、市民体カテストやニュースポーツ教室を実施し、121名が参加した。

○ 市マラソン大会事業については、コロナ感染拡大防止のため中止した。

有料参加予定者には、Tシャツ・タオルをはじめ黒アワビだけなどの特産物を送付した。

○ 市民運動会事業については、市民のスポーツ振興とレクリエーションの普及・浸透を図り、よりよい人間関係を育むと共に、明朗・活発な人間育成のため実施した。

参加者数は、6,034名（雨天のため、種目を変更しての開催）

毎年、新たなメニューを取り入れるなどの工夫をしているが、メインの地区対抗リレーの参加者を募るのが困難な状況が続いている。

○ スポーツ施設運営事業及びスポーツ施設整備事業については、安全かつ快適にスポーツ施設を利用していただくため、総合体育館のフリー開放や必要な点検・整備を実施した。

○ スポーツ教室事業については、市民のスポーツ振興を図り、健康で明るいまちづくりを推進する事を目的に実施した。

親子教室は、138名の参加。

ヨガ教室は、60名の参加。

エアロビクスは、53名の参加。

今後、ニュースポーツをとり入れ種目を増やすなどの検討を要する。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

スポーツ推進委員会運営事業については、昨年度に引き続き、ニュースポーツ教室を開催することで、スポーツする喜びや楽しみを啓発してきた。

また、近畿大学生物理工学部と近大スポーツフェスティバルを共催し、新たなニュースポーツへの取り組みも行えた。

生涯スポーツの推進については、市民運動会やマラソン大会を実施しているところであり、とりわけマラソン大会においては、活性化を図るための試みとして、本年度から新種目の設定を行ったところである。

また、他のスポーツイベントについては、他市町村等のイベントを視察するなど、広い視野を持つことで、充実感あふれる催しを開催できるよう、努めなければならない。

〔総合評価〕

- ◎ 生涯スポーツの推進については、10事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が7事業で、「やや下回る」が3事業で、今後の方向性は「継続」とし、今後とも、市民のスポーツニーズに応えるため、施設の老朽化対策を年次計画的に進め、各種スポーツの振興に努める。

〔評価委員の意見〕

- スポーツ推進委員会運営事業については、各種スポーツ大会等の運営に引き続き努められたい。
- 生涯スポーツの推進については、スポーツ少年団、体育協会の会員数が減少傾向にあり、会員数の増加を促すためにニュースポーツの魅力発信に努められたい。

(5) 文化・芸術活動の活性化

〔基本方針〕

創造性のある文化の薫り高いまちづくりに向けて、拠点となる文化施設の整備・運営の充実を図り、多種多様な芸術・文化に触れる機会を充実させるとともに、文化団体の育成・支援に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 文化祭事業については、文化活動の振興と普及を図り、参加を通じて文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを目的に開催した。減少傾向にある展示作品の出品数を確保するため、1人当たりの出品数が1点であったのを一人当たり1種目1点に変更した。広報への申込書の添付と市ウェブサイトへも掲載し、申込も直接申込に加え、郵送、FAXでの受付を行い、また、市外の方でも指定日時に搬入搬出ができるのであれば可能とした。

参加人数は20,557名。

- 公民館講座事業は、講座を通して想像力を育て友達づくりや交流の場を提供するため、気軽に参加できる講座を開催した。

夏のこども講座は、6講座、受講者は152名。

冬のこども講座は、3講座、受講者数は80組。

冬の講座（一般）ピラティス入門は、コロナ感染拡大防止のため、1講座予定を中止。

親子ワールドキッチンは、2講座、受講者数は34名

- 公民館フェア事業については、コロナ感染拡大防止のため、中止。
- 文化協会助成事業については、市民の文化振興、文化交流に資するため、補助金を交付した。

文化協会 37クラブ（820名）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

出品規定を見直し、一人一点を種目ごとに一人一点まで可能としたが、広く市民に認知されたとは言い難く、変更について引き続き周知を図っていく必要がある。また、量だけでなく質の高い作品を生み出している人材にスポットを当て、特設コーナーを設けるなど真新しい展示方法について

も今後検討していく。

〔総合評価〕

- ◎ 文化・芸術活動の活性化については、3事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 文化祭については、団体出品を増やすなどの取り組みを実施したが、出品数が横ばい状態であり、多くの市民に出品いただけるよう、企画・運営等協議し、幅広く参加できるよう努める。

〔評価委員の意見〕

- 文化祭事業については、新規申込者の獲得のため、小中高大学への募集呼びかけを行うとともに令和3年国民文化祭とのタイアップで盛り上げていただきたい。

(6) 歴史・伝統文化の振興

〔基本方針〕

郷土文化の保存継承並びにふるさと教育を更に充実させるため、文化遺産や文化的資源の保護・活用を図り、地域文化活動の支援に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 国史跡根来寺境内周辺保全管理事業については、国史跡に指定されている根来寺境内及びその周辺の歴史に培われた文化遺産を守り、後世に伝えていくため、関係機関との協議や委員会を開催し、委員の指導助言を参考に適正な保全を図った。
また、根来寺境内の私有地の取り扱いについては、無秩序な開発の防止や良好な景観の保全を促す必要があり、そのルール作りを検討していかなければならない。
- 文化遺産保存活用事業については、市内の指定文化財への維持、管理、修理等に要する経費への補助を行い、保存・活用を図った。未指定文化財の調査を継続し、必要なデータを収集・整理し、保護資料の作成につとめた。

個人所有者の高齢化で指定文化財の維持管理が困難となってきたため、保存、活用に係る支援が必要となってくる。

また、ねごろ歴史資料館において、根来寺境内等の地域の特色ある埋蔵文化財の総合的な公開活用を実施した。

- 根来の子守唄保存事業については、ふるさとに伝わる文化遺産（民話・伝承・子守唄など）を題材に、唄や語り、創作・新作講談を市民や各種団体との協働により事業を計画したが、コロナ禍のため開催はできなかった。

「ふるさと感動物語～ふれあいファミリーコンサート～」(中止)

現在、根来の子守唄保存会の会員数は 23名で、根来小学校他38回の唄指導や慰問等の活動を行った。今後は、根来の子守唄を継承していく情熱を持った人材の育成が必要であるが、高齢化に伴い、指導者の減少と受け継ぐ側の人材の確保が課題である。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

文化遺産や文化的資源の保護及び活用を図り、市民への普及・啓発に取組まれたいとこの意見を受け、地域資源や未指定文化財の調査の継続と、必要なデータを収集・整理し、保護資料の作成につとめた。

ねごろ歴史資料館への展示資料の提供や岩出市文化祭で展示を行い、普及・活用を図った。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史・伝統文化の振興については、3事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- 根来の子守唄保存事業については、これまでの実践を活かしながら伝統文化の保存・継承に努めていく。

〔評価委員の意見〕

- 文化遺産保存活用事業については、個人所有者の高齢化で指定文化財の維持管理が困難となっており、伝統ある文化遺産を保全し、伝統文化を未来に継承していくため、地域文化を育成する活動の支援を行い、文化遺産や文化的資源の保護及び活用を図るとともに、市民への普及・啓発に取り組まれない。

(7) 人権尊重の推進

〔基本方針〕

同和問題はもとより、女性、子ども、高齢者、障害者などあらゆる人権問題の解決に向け、市民の人権意識の高揚に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 人権啓発事業については、人権尊重思想の普及・高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広めるため、講演会の開催や小中学生の人権作文集の発行、人権ポスターの展示などを実施した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

人権教育・啓発の推進は、より多くの方に参加いただけるよう庁内の関係部署や、様々な関係機関と連携を図りながら事業を展開するようにとの意見を受け、保護者学級、小・中学生人権作文、人権ポスターをはじめ、岩出図書館と共催して人権講演会を開催し、人権問題に対する正しい認識を広めた。

〔総合評価〕

- ◎ 人権尊重の推進については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が1事業で、今後の方向性は「継続」とした。
- □承文芸学者（小澤 俊夫氏）を講師に迎え、法務省人権啓発講演会を開催した。
今後も多くの方に参加いただけるよう、創意工夫を凝らし人権問題に関する正しい認識を得ることに努める。

〔評価委員の意見〕

- 人権教育・啓発の推進については、市民ニーズに即した講演や出演者を選考し、より多くの方に参加いただけるよう庁内の関係部署や様々な関係機関と連携を図りながら事業を展開されたい。

【岩出図書館】

(1) 図書館事業の充実（図書館運営事業）

〔基本方針〕

図書紹介、行事案内やサービス内容など様々な情報を発信したり、イベント事業、講演会を開催したりすることにより、市民の図書館に対する理解や関心を深め、図書館利用の促進を図る。

イベント開催、図書館の環境整備には、図書館ボランティアの協力が必要であり、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。

また、岩出図書館資料収集基準に基づき、公共図書館の役割、利用者各層の要求及び社会の動向を十分配慮して、広く市民の文化、教養、調査、研究、趣味、娯楽等に資するため、図書等を幅広く収集し、地域密着型図書館として、市民の身近にあって、「いつでも、どこでも、誰にでも」図書館サービスが受けられるよう努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 図書館利用促進事業については、映画会25回、体験教室11回、講演会4回、その他イベント（展示他）17回実施した。

入館者数は、191,143人

貸出冊数は、421,874点

貸出人数は、100,488人

登録者数は、34,647人

- 図書館ボランティア活動支援事業については、図書館ボランティア、学校図書館ボランティア、一般等を対象に、平成30年度に引き続き、図書館ボランティア養成講座「ストーリーテリング講座」を3回開催し、受講者が上岩出小学校で2回実演をした。その受講者の一部で「ストーリーテリンググループ」を作り、図書館ボランティアへの新規加入者が3名あった。図書館ボランティアは令和元年度末で81名の登録となった。

また、高校生ボランティアの受入については、毎年那賀地方にある高校3校にボランティア募集をかけていたが、その他の高校の生徒からボランティアをしたいとの申し出があり、受入をした。募集定員を増やしたこと

もあり、受入人数が平成30年度より7名多い23名となった。

- 図書等購入事業については、計画通り資料を購入できた。できるだけ利用者の要望に応えながら、資料の充実を図った。

図書

一般図書	7,581冊
児童図書	3,851冊
参考図書	261冊
計	11,693冊

視聴覚資料

DVD	100点
CD	100点
計	200点

- デジタルサイネージにより、新着資料やおすすめ本の情報、ねごろ歴史の丘・民俗資料館等関連情報を発信し、読書推進及び図書館周辺施設の利用促進を行った。

広報面では、新聞社、テレビ局、ラジオ局、タウン誌などへのイベントの情報提供やウェブサイト、岩出市安心安全メール配信での図書館情報の周知を積極的に行った。

報道機関等への情報提供件数 75件

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

今後も利用者の利便性の向上を図るとともに、広くPRを行い、さらなる利用者の増加に繋げていくようにという意見を受け、令和元年度限定の新天皇の即位に伴う祝休日の振替休館は行わず、利用者の利便性を確保した。

さらに、令和2年4月から、国民の祝・休日(木曜日にあたる場合を除く)の翌日の振替休館を廃止し、年間開館日の増加を図る準備として、「岩出市立岩出図書館の管理運営に関する規則」の改正や市広報及びウェブサイト・ポスター等でのPRを行った。

また、イベントの報道機関等への情報提供も積極的に行い、件数については、平成30年度の72件を上回った。

〔総合評価〕

◎ 図書館運営事業については、3事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」が3事業で、今後の方向性はすべて「継続」とした。

○ 様々なイベントを開催した。なかでも、梅が出回る時期に合わせ、梅の効能や和歌山県での梅の生産、梅のレシピ等を紹介する「梅パワーのうめえはなし」や、口承文芸学者の小澤俊夫氏による人権講演会「昔話 語りの文法とメッセージ」、近畿大学生物理工学部教養特殊講義でのアドベンチャーワールドにおける実習で学生が観察・調査した結果を岩出図書館で一般市民に発表する「動物園で学ぶ生物多様性保全」などの目新しいイベントを開催することができ、参加者も多く、市民の関心が高いことがわかった。他にも、元号が変わる時期に、平成30年間の各年の出来事や流行語などの紹介とともに、「平成ベストセラーブック展」でベストセラー本を展示したことによって、それらの本の貸出が多くなった。

しかし、新型コロナウイルスの影響で、3月の展示以外のイベントが中止・延期となり、集客ができなかったこともあり、図書館全体では、入館者数、貸出冊数とも前年度より減少している。

また、ここ数年来の課題であるが、上岩出地区公民館図書室の利用減少が止まらない。所蔵する雑誌を利用者傾向に合うものに見直し、利用者の増加を図る。

さらに、令和2年4月から、岩出図書館の国民の祝休日の振替休館を廃止し、開館日数を増やし、利用者の利便性を向上させることにより、全館・室の利用増加を図る。

○ 新しいジャンルのボランティアグループ「ストーリーテリンググループ」ができ、これから活動の場を増やしていくとともに、図書館ボランティアが高齢化してきているので、ボランティアの育成のため、引き続き図書館ボランティア養成講座を開催し、新規加入を図る。

また、高校生ボランティアの募集について、那賀地方の3校への募集以外に、令和2年度から、その他の高校の生徒も参加できるよう、公募を行う。

○ 令和元年度末で、岩出図書館（分館・分室含む）の蔵書冊数は326,922冊（うち本館は287,944冊）となった。今後も、利用者のニーズや社会の動向を把握し、資料収集を行うとともに、引き続き郷土資料の充実

を図る。

令和3年度に岩出図書館の蔵書目標冊数30万冊に達する予定なので、今後新たな蔵書目標冊数の設定と収集の仕方の検討をする必要がある。

〔評価委員の意見〕

- 新型コロナウイルスの影響で、今後も入館者数や貸出点数等の減少やイベントの中止等が考えられるが、できるだけ利用者サービスを低下させないよう、新しい形でのサービス提供を検討されたい。

(2) **図書館事業の充実（子ども読書活動推進事業）**

〔基本方針〕

学校・家庭・地域がそれぞれの機能を発揮し、子どもが自主的に読書活動を行えるよう、学校や図書館などの関係機関、民間団体等と緊密に連携し、相互に協力しながら、子どもの発達段階に応じた読書活動を積極的に推進する。

また、図書館及び学校図書館の図書資料や施設・設備を充実し、子どもの身近なところに読書のできる環境を整備するとともに、読書の意義や重要性について、市民の理解と関心を深める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 子どもの読書活動に関する様々なイベントや展示の実施、学校等の図書館見学や中学生の職場体験の受入、保育所（園）への訪問おはなし会の実施、学校へのブックリストや図書館イベント案内等の配付を行った。

図書館司書派遣事業では、市内小中学校に各37日学校司書を派遣し、児童・生徒への読み聞かせ、ブックトーク、アニメーションや授業で使用する図書の収集、調べ学習のサポート、ビブリオバトルに関する指導をするなど、読書支援・学習支援を行った。

家族ふれあい読書推進事業では、市内の小中学生のうち配付対象学年の児童・生徒にうちどくノートを配付するとともに、うちどくの啓発のため、おすすめの図書のリストから出題する「うちどくクイズ」や各小中学校から選出された児童・生徒の「うちどくの記録」の展示を実施した。また、小学校

低学年から習慣的にうちどくに取組んでもらえるよう、小学校の就学時健診の際に、図書館職員が各小学校に出向き、保護者への啓発を直接行った。

親子読書支援事業では、1歳8か月児健康診査対象者に図書館への案内状を配付し、来館者には親子での読書（読み聞かせ）を支援するトートバックに入れた絵本のプレゼント、ブックリストの配付を行った。また、読書相談に応じるとともに、図書館利用カード作成やおはなし会等の案内を行った。一目で絵本のプレゼントとわかるよう案内状の文言を見直したほか、平成30年度対象のまだ来館していない対象者に再通知を送付した。

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

子ども読書活動推進事業の周知啓発を行うとともに、学校や他部署との連携を密にしながら、効果的に実施できるよう努めるようにというご意見を受け、子どもの読書活動に関するイベントや司書派遣、うちどく、親子読書支援事業など、図書館ボランティア、学校、学校ボランティア、教育総務課、子ども・健康課、子育て支援センターと連携して、実施することができた。

〔総合評価〕

- ◎ 子ども読書活動推進事業については、1事業の評価を実施し、「期待どおり」で、今後の方向性は「継続」とした。
- 学校の図書館見学受入については、年々件数が増加しているが、あと1校受け入れしていない小学校があるので、見学に来てもらえるよう引き続き働きかけを行う。

図書館司書派遣事業では、中学校で読書部のクラブ活動に対する支援を行い、夏休み中に岩出図書館での中学生によるおはなし会が実現した。今後も、中学校だけでなく、小学校でも、クラブ活動や委員会活動、ビブリオバトルの支援を積極的に行う。

家族ふれあい読書推進事業では、家庭での自主的な「うちどく」がまだ定着していない。自宅で過ごすことを余儀なくされる昨今の状況の中、家庭での「うちどく」の取組が、子どもたちの読書推進や家族とのコミュニケーションを図る上でも効果的であると考えるので、引き続き小学校の就学時健診で保護者にうちどくの啓発を行うとともに、図書館でのイベント等でも周知する。

親子読書支援事業では、子ども・健康課から送付する1歳8か月児健康診査の通知に絵本の引換券を同封し、図書館へ来館してもらうよう当該事業対象者に周知しているが、令和元年度対象者の来館率は平成30年度対象者の来館率に比べ増加したものの、4割強にとどまっている。平成30年度対象のまだ来館していない対象者に再通知を送付した結果、50名の対象者が来館した。今後も、図書館イベントではもちろんのこと、子育て支援センターや子ども・健康課と連携しながら、さらにPRを図る。

〔評価委員の意見〕

- コロナ禍において、自宅で過ごす時間が多くなれば、子どもたちが読書できる時間が増えることから、来館自粛で減少傾向にある事業をアウトリーチサービスに転換するなど工夫し、さらなる子どもの読書活動の推進に努められたい。

(1) 文化・芸術活動の活性化（民俗資料館の整備・充実）

〔基本方針〕

文化関係団体の育成を図るとともに、活動拠点となる文化施設の整備・運営の充実に努める。

創造性のある文化の薫り高いまちづくりに向けて、図書館や民俗資料館とともに、埋蔵文化財展示施設や旧和歌山県議会議事堂と一体となった文化・観光拠点施設など、それぞれの基本的な役割と機能を十分踏まえた上で、時代や市民のニーズに対応すべく地域文化を育成する活動の支援に努める。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館展観事業では、市民に郷土の歴史・文化に関心と理解を深めていただくことを目的に収集資料品展、根来寺所蔵宝物展、秋季企画展、所蔵品展、根来塗講座受講生作品展示、岩出市文化協会作品展示を開催した。

まず、収集資料品展は民俗資料館資料収集事業で購入した根来漆器を常設展示するもので、9月と3月に展示品の入替えを行い、根来塗について理解を深めていただいた。

次に、前年度夏季に実施した根来寺所蔵宝物展を春季に変更して「天野山金剛寺と中世根来寺」をテーマにした展示を行い、天野山金剛寺所蔵の資料から根来寺の宗教活動について理解を深めていただき、秋季企画展の「根来寺の歴史と文化財 - 建物を中心として - 」では、前年9月に重要文化財に指定された根来寺大伝法堂ほか5棟の建物の構造や歴史を中心に紹介した。そして、寄贈品で実施した所蔵品展の「昔のくらしと道具 - 素材と技 - 」は、小学校3年生の社会科で「昔のくらし、昔の遊び」をテーマにした学習を行うのに合わせて実施した。

最後に、根来塗講座受講生と岩出市文化協会4団体の作品展示では、日頃の活動成果発表の場としてご利用いただき、作品展示を一目見ようと訪れる市民の交流の場として賑った。

収集資料品展入館者数	43,967 人
根来寺所蔵宝物展入館者数	10,647 人
秋季企画展入館者数	9,766 人

所蔵品展入館者数	3,386 人
根来塗講座受講生作品展示入館者数	3,012 人
岩出市文化協会作品展示入館者数	3,829 人（4 団体の延べ人数）

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

昔の道具を見たり触れたりすることで、昔の記憶を呼び起こしてもらい、介護予防に役立ててもらうために所蔵品展のポスターの掲載を高齢者福祉施設にも依頼することは良いとの意見を受け、本年度の展示から岩出市内や近隣市の施設数か所に依頼した。

〔総合評価〕

- ◎ 民俗資料館の整備・充実については、1 事業の評価を実施し、総合評価は、「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した岩出市文化協会作品展示や会期中で中止した根来塗講座受講生作品展示を除くと、前年度の実績を上回った。さらに多くの方に入館していただくためには、ポスター等の依頼先を工夫するなど広報活動の充実が必要である。

〔評価委員の意見〕

- 民俗資料館の展観事業は、根来寺や郷土岩出の歴史や文化を市民や市外からの観光客に展示会を通じてわかり易く伝える施設である。昨年度は、根来寺の大伝法堂ほか6棟の建物が重要文化財に指定された。そこで、特に入館者数が多い時期に実施する春の根来寺所蔵宝物展や秋季企画展では、関心や注目度の高い内容に留意しながらテーマを設定されたい。

(2) 歴史・伝統文化の振興（歴史的文化資源の活用）

〔基本方針〕

文化遺産や文化的資源の保護及び活用を図るとともに、伝統芸能の伝承を促進し、文化・芸術の振興を図る。

〔令和元年度の主な取組状況〕

- 民俗資料館歴史学習・講座事業は、市民の方に多様な視点から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供することを目的に歴史講座、歴史学習会、秋季企画展講演会を実施した。

まず、歴史講座は「長谷寺と専誉僧正」と「中世城館跡から見た根来寺・根来衆の城」をテーマに2回開催し、根来寺を中心とする郷土岩出の歴史について理解を深めていただいた。

次に歴史学習会は、小学4～6年生を対象に古代のアクセサリー等を自ら作る体験学習として「勾玉づくり（1回）」と「埴輪づくり（1回）」、夏の風物詩の「風鈴づくり等（1回）」をテーマに夏休み子ども歴史学習会を3回開催し、冬に小学3～6年生を対象に「昔の暮らしの体験」をテーマに冬の子ども歴史学習会を1回開催し参加者には好評でした。

また、秋季企画展講演会は、「根来寺伽藍復興と大伝法堂の空間」をテーマに開催し、根来寺の近世伽藍復興の様子や大伝法堂に僧侶が何人入ったなどの規模や建物の特徴について理解を深めていただいた。

歴史講座	第1回参加者数	78人
	第2回参加者数	86人
夏休み子ども歴史学習会	第1回参加者数	45人
	第2回参加者数	46人
	第3回参加者数	46人
冬の子ども歴史学習会	第1回参加者数	31人
秋季企画展講演会参加者数		52人

〔前年度の指摘事項に対する取組状況〕

ボランティアを活用して事業を実施してはどうかというご意見を取り入れ、その後すぐに募集を行い、11月の秋季企画展講演会と2月の歴史講座で受付をお願いした。

〔総合評価〕

- ◎ 歴史的文化資源の活用については、1事業の評価を実施し、総合評価は「期待どおり」、今後の方向性は「継続」とした。

- 歴史講座と夏休み子ども歴史学習会については目標人数を上回ったが、冬の子ども歴史学習会と秋季企画展講演会は目標人数を下回った。

夏休み子ども歴史学習会では、1回は新たなテーマ「風鈴づくり等」を実施したことが好結果となった。また、冬の子ども歴史学習会は、ものづくり体験も取り入れて学習会を実施したので前年度より多くの参加者を得た。今後も児童のニーズを十分に把握しながら、あわせて新しいテーマの検討も行って実施していく必要がある。

歴史講座はアンケート結果で要望の多い根来寺関連や郷土岩出の歴史等の中で特に関心や注目度の高いテーマのものを選んで今後も実施していく。

〔評価委員の意見〕

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染防止対策を行っての事業実施となる。実施できたとしても1回あたりの参加人数を減らして行わざるをえない。そこで、一人でも多くの市民の方に参加してもらうために同じテーマでの講座・学習会を2回以上実施することも検討されたい。

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	いわでアスリートクラブ事業		
事業の目的	陸上競技を通じて、児童の心身の健全育成を図る。		
事業概要	毎週土曜日の午前中に、中央小学校又は大宮緑地総合運動公園を使用して、岩出市内の小学生(3年生以上)を対象に、陸上競技活動を実施する。		
目標 (評価指標)	登録児童の 活動参加率	50% 48%	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・実施期間:平成31年4月20日～令和2年2月22日 ・実施回数:30回 ・実施場所:中央小学校又は大宮緑地総合運動公園 ・登録者数:313人 (前年度 319人) <ul style="list-style-type: none"> 3年生 107人 (前年度 102人) 4年生 76人 (前年度 104人) 5年生 93人 (前年度 55人) 6年生 37人 (前年度 58人) ・のべ参加者数:4485人 (前年度 4286人) ・出席率: 51.5% (前年度 41.9%) ・指導者登録者数: 34人 (前年度 28人) ・県大会成績: <ul style="list-style-type: none"> 6/30 全国小学陸上競技交流大会県予選会に、46人出場し、 9人が8位以内に入賞した。(会場:紀三井寺陸上競技場) 9/8 県小学生秋季陸上選手権大会に、37人出場し、 18人が8位以内に入賞した。(会場:紀三井寺陸上競技場) 		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>新型コロナウイルス感染症のため2回、雨天のため2回、警報発令のため1回の合計5回活動は中止となり、年間30回の実施となったが、のべ参加人数は、199名増加した。活動参加率も過去最高の51.5%と9.6%増加した。</p> <p>要因は、5、6年生の登録者が昨年度より6.1%増加し、特に5年生の参加率が良かったことと、大型扇風機購入による休憩時間のリフレッシュ効果が大きいと考えられる。</p> <p>指導者の確保は、保護者の協力が得られ34名登録者がいるが、季節により参加状態に偏りがあり、指導者不足に悩む日もあった。指導体制を見直し、中心となる指導者を何人か指名し、ローテーションで無理なく参加してもらえる体制を作る必要がある。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	適応指導教室事業		
事業の目的	心理的要因等により学校生活に適応できず登校できない児童及び生徒の在籍校への復帰を目的とする。		
事業概要	適応指導教室に指導員を置き、毎週月曜日から金曜日(国民の祝日等は除く)に、不登校児童・生徒に対する教育相談、在籍校への復帰や自立を図るために指導及び援助、学校等関係機関との連携を図る。		
目標 (評価指標)	なし	理由	児童生徒の状況に応じて、適宜実施しているため。
達成状況	<p>【通級状況】()は前年度の数 入室児童生徒数: 小学生3名(2名)、中学生18名(10名) 上記以外の体験小学生1名(4名)、体験中学生5名(3名)</p> <p>入室者出席延べ日数: 小学生15日(31日)、中学生708日(216日) 体験入学者出席延べ日数: 小学生1日(12日)、中学生33日(3日)</p> <p>【相談状況】()は前年度件数 来所相談: 2件(43件) 電話相談: 3件(3件) 学校との連携: 学校への訪問 79件(49件) 学校からの訪問 135件(202件) 学校との連絡: 学校への電話 177件(145件) 学校からの電話 154件(252件) 家庭との連絡: 家庭への電話 1件(1件) 家庭からの電話 78件(10件)</p> <p>【指導者等】 指導員 2人 指導補助員 2人 不登校支援員 3人 スクールカウンセラー 1人</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>昨年と比べ入級者は同程度であったが、中学生の入級者は増加している。入室者出席延日数も492日増加し、学校と適応指導教室の両方に通学する児童生徒が増加した。児童生徒の学校以外の学習の場となってきている。</p> <p>入室者の中でも、適応指導教室にもほとんど出席できない児童生徒がいるため、出席できない児童生徒への働きかけが必要である。</p> <p>また昨年度に引き続き、適応指導教室への入室が困難な児童生徒に対して、在籍校と連携を図り家庭訪問等連絡を密にし、本教室の活用を促進するとともに、通級しやすい環境づくりと、入級者の増加に備え環境の整備が課題である。</p> <p>また、本来の目的である在籍校への復帰ができるような働きかけが必要である。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」 「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	特別支援教育就学奨励費扶助事業（小・中学校）		
事業の目的	特別支援学級に在籍する児童・生徒の保護者に対し、特別支援教育就学奨励費を国の基準により支給し、特別支援教育の振興を図る。		
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒用品費、通学用品費に対する扶助費である。		
目標 (評価指標)	なし	理由	特別支援学級在籍児童・生徒数は年度により差があり、目標設定は制度の性質上適当でないため。
達成状況	<p>()は前年度数値</p> <p>○岩出小学校 認定者 16名 (12名) ○山崎小学校 認定者 22名 (23名) ○山崎北小学校 認定者 12名 (12名) ○根来小学校 認定者 15名 (14名) ○上岩出小学校 認定者 9名 (9名) ○中央小学校 認定者 10名 (12名)</p> <p>小学校合計支給額 2,637,869円 (2,453,252円)</p> <p>○岩出中学校 認定者 5名 (5名) ○岩出第二中学校 認定者 13名 (17名) ○市外中学校 認定者 1名 (0名)</p> <p>中学校合計支給額 927,631円 (854,015円)</p> <p>扶助費支給額合計 3,565,500円 (3,307,267円)</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されているため、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要。 経費の約1/2については、国の補助金があるが、その他は市費により支出している。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	要保護、準要保護児童・生徒扶助事業 (小・中学校)		
事業の目的	経済的理由によって就学が困難と認められる児童・生徒に対し、就学の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図る。		
事業概要	学校給食費、修学旅行費、校外活動費、学用品費、新入学児童・生徒学用品費、通学用品費に対する扶助費である。 年3回(7月、12月、3月)支給する。		
目標 (評価指標)	なし	理由	就学援助は経済情勢等の社会的要因で上下し、目標設定は制度の性質上適当でないため。
達成状況	<p style="text-align: right;">()は前年度数値</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩出小学校 認定者 55名 (57名) ○山崎小学校 認定者 60名 (58名) ○山崎北小学校 認定者 72名 (61名) ○根来小学校 認定者 36名 (39名) ○上岩出小学校 認定者 57名 (66名) ○中央小学校 認定者 52名 (50名) ○市外小学校 認定者 6名 (2名) <p>小学校合計支給額 17,601,754円 (15,777,392円) 小学校給食費扶助費 9,796,896円 (9,698,980円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岩出中学校 認定者 111名 (123名) ○岩出第二中学校 認定者 109名 (119名) ○市外中学校 認定者 2名 (4名) <p>中学校合計支給額 18,612,486円 (18,334,038円) 中学校給食費扶助費 5,515,476円 (6,271,644円)</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>要保護・準要保護児童生徒の保護者の経済的な負担が軽減されているため、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要。</p> <p>要保護の修学旅行費については、国の補助金(1/2)があるが、その他は市費により支出している。</p> <p>修学旅行費について、保護者の経済的負担軽減を考え、事前支給を実施している。給付額を国基準に増額改正を行い、令和元年度より施行。</p> <p>入学準備金の事前給付について令和2年度(令和3年度入学予定者)から実施する。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	小学校施設改修事業		
事業の目的	小学校の施設劣化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。		
事業概要	児童の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。		
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため
達成状況	<p>山崎小学校トイレ改修工事 (補) 65,051,800 中央小学校公共下水道接続工事 (補) 4,235,000 小学校消防用設備工事 488,400 山崎北小学校プールサイドシート防水工事 1,018,490 山崎北小学校手摺設置工事 924,000 中央小学校ふじ棚撤去工事 220,000 岩出小学校西門扉取替工事 583,000 山崎小学校カーテンレール取付工事 127,600 山崎北小学校グラウンド会所浚渫工事 48,600 計 72,696,890</p> <p>(繰越事業)</p> <p>山崎小学校公共下水道接続工事 (補) 9,003,960</p> <p>(補)は補助金対象事業 学校施設環境改善交付金</p> <p>工事の施工により、施設の耐用年数の延長及び教育環境の整備や児童の安全確保を図ることができた。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図るとともに、教育環境の整備や児童の安全確保のため、実施計画に基づき教育環境の整備を行なう。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち										
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実										
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課									
事業名	中学校施設改修事業											
事業の目的	中学校の施設劣化等に伴う補修工事を施工し、施設の安全確保及び耐用年数延長を図る。											
事業概要	生徒の安全確保及び教育環境の整備・充実を図るため、校舎等の改修を行う。											
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの学校に応じた緊急性の高い修繕を優先し対応しているため									
達成状況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">岩出第二中学校公共下水道接続工事</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">(補)</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">16,308,600</td> </tr> <tr> <td>中学校消防設備工事</td> <td></td> <td style="text-align: right;">112,200</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">16,420,800</td> </tr> </table> <p>(補)は補助金対象事業 学校施設環境改善交付金</p> <p>工事の施工により、施設の耐用年数の延長及び教育環境の整備や生徒の安全確保を図ることができた。</p>			岩出第二中学校公共下水道接続工事	(補)	16,308,600	中学校消防設備工事		112,200		計	16,420,800
岩出第二中学校公共下水道接続工事	(補)	16,308,600										
中学校消防設備工事		112,200										
	計	16,420,800										
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下										
事業課題等	今後も、老朽化対策及び維持管理の徹底を図るとともに、教育環境の整備や生徒の安全確保のため、実施計画に基づき教育環境の整備を行なう。											
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」										

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち																															
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の充実																															
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課																															
事業名	各小中学校普通教室等空調設備設置事業																																	
事業の目的	本事業は、各小中学校における空調設備を設置することにより、児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することを目的とする。																																	
事業概要	各小中学校普通教室に空調設備を設置する。																																	
目標 (評価指標)	なし	理由	冷房設備対応臨時特例交付金を利用し、令和元年度9月2日までに完了するため																															
達成状況	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="text-align: right;">事業費</th> <th style="text-align: right;">(補助金額)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩出小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">58,104,000円</td> <td style="text-align: right;">(8,475,000円)</td> </tr> <tr> <td>山崎小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">81,000,000円</td> <td style="text-align: right;">(13,503,000円)</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">77,220,000円</td> <td style="text-align: right;">(13,542,000円)</td> </tr> <tr> <td>根来小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">56,106,000円</td> <td style="text-align: right;">(9,353,000円)</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">81,594,000円</td> <td style="text-align: right;">(11,455,000円)</td> </tr> <tr> <td>中央小学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">52,974,000円</td> <td style="text-align: right;">(11,279,000円)</td> </tr> <tr> <td>岩出中学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">57,456,000円</td> <td style="text-align: right;">(15,651,000円)</td> </tr> <tr> <td>岩出第二中学校普通教室等空調設備設置事業</td> <td style="text-align: right;">71,280,000円</td> <td style="text-align: right;">(15,964,000円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">535,734,000円</td> <td style="text-align: right;">(99,222,000円)</td> </tr> </tbody> </table> <p>9月1日までに工事完了し、9月2日(夏休み明け)から、児童生徒及び教職員に望ましい学習・生活環境及び就労環境を提供することができた。</p>					事業費	(補助金額)	岩出小学校普通教室等空調設備設置事業	58,104,000円	(8,475,000円)	山崎小学校普通教室等空調設備設置事業	81,000,000円	(13,503,000円)	山崎北小学校普通教室等空調設備設置事業	77,220,000円	(13,542,000円)	根来小学校普通教室等空調設備設置事業	56,106,000円	(9,353,000円)	上岩出小学校普通教室等空調設備設置事業	81,594,000円	(11,455,000円)	中央小学校普通教室等空調設備設置事業	52,974,000円	(11,279,000円)	岩出中学校普通教室等空調設備設置事業	57,456,000円	(15,651,000円)	岩出第二中学校普通教室等空調設備設置事業	71,280,000円	(15,964,000円)	計	535,734,000円	(99,222,000円)
	事業費	(補助金額)																																
岩出小学校普通教室等空調設備設置事業	58,104,000円	(8,475,000円)																																
山崎小学校普通教室等空調設備設置事業	81,000,000円	(13,503,000円)																																
山崎北小学校普通教室等空調設備設置事業	77,220,000円	(13,542,000円)																																
根来小学校普通教室等空調設備設置事業	56,106,000円	(9,353,000円)																																
上岩出小学校普通教室等空調設備設置事業	81,594,000円	(11,455,000円)																																
中央小学校普通教室等空調設備設置事業	52,974,000円	(11,279,000円)																																
岩出中学校普通教室等空調設備設置事業	57,456,000円	(15,651,000円)																																
岩出第二中学校普通教室等空調設備設置事業	71,280,000円	(15,964,000円)																																
計	535,734,000円	(99,222,000円)																																
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																
事業課題等	<p>今後は、岩出市立小中学校エアコン運用指針に基づき、環境負荷低減及び児童生徒の健康への配慮をしながら空調設備を運用する。</p>																																	
今後の方向性	完了	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																																

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち															
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実															
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課														
事業名	通学路整備工事																
事業の目的	通学路の整備により、児童生徒の登下校時の安全を図る。																
事業概要	各学校より、危険箇所の報告を受け、道路管理者、岩出警察署及び各関係機関と連携を図り、通学路の危険箇所を改修し、児童生徒の安全を確保する。																
目標 (評価指標)	なし	理由	毎年調査し、通学路危険個所の改修をしているため。														
達成状況	<p>4月 通学路危険箇所調査の学校配布</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">岡田地区通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">669,600円</td> </tr> <tr> <td>根来地区通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">21,600円</td> </tr> <tr> <td>宮地区外通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">241,917円</td> </tr> <tr> <td>吉田地区通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">1,806,014円</td> </tr> <tr> <td>中黒地区外通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">253,696円</td> </tr> <tr> <td>今中地区通学路整備工事</td> <td style="text-align: right;">830,157円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">3,822,984円</td> </tr> </table> <p>通学路の整備工事施工により、児童・生徒の通学路の安全確保が図ることができた。</p>			岡田地区通学路整備工事	669,600円	根来地区通学路整備工事	21,600円	宮地区外通学路整備工事	241,917円	吉田地区通学路整備工事	1,806,014円	中黒地区外通学路整備工事	253,696円	今中地区通学路整備工事	830,157円	計	3,822,984円
岡田地区通学路整備工事	669,600円																
根来地区通学路整備工事	21,600円																
宮地区外通学路整備工事	241,917円																
吉田地区通学路整備工事	1,806,014円																
中黒地区外通学路整備工事	253,696円																
今中地区通学路整備工事	830,157円																
計	3,822,984円																
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下															
事業課題等	<p>合同点検については、危険箇所を共通認識してもらうため、道路管理者、岩出警察署及び関係各機関だけでなく、PTAにも立ち会ってもらっている。</p>																
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」															

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課	
事業名	教材・教具整備事業			
事業の目的	教材・教具を整備し、学習に活用することで、児童・生徒の学習意欲の向上、教職員の指導の効率化を図る。			
事業概要	各学校で希望する教材・教具を選定、優先順位を付けたリストを作成させ、そのリストに基づき整備を行う。その際、教育委員会においても改めてリストに挙げた教材・教具を精査し、効率的な整備が出来るよう努める。			
目標 (評価指標)	なし	理由	教材整備指針に基づき必要な教材・教具を整備・更新しているため。	
達成状況	<小学校 教材備品> 1,214,200 <中学校 教材備品> 1,058,832 <小・中合計> 教材 2,273,032		<小学校 理振備品> 781,704 <中学校 理振備品> 916,974 <小・中合計> 理振 1,698,678	
	図書蔵書数(3/31現在) 岩小 11,555冊 山小 16,641冊 山北小 17,344冊 根小 12,352冊 上小 15,727冊 中央小 14,469冊 岩中 22,074冊 二中 23,253冊 計 133,415冊		図書標準冊数 岩小 18学級 10,360冊 山小 27学級 12,160冊 山北小 25学級 11,760冊 根小 18学級 10,360冊 上小 14学級 8,760冊 中央小 19学級 10,560冊 岩中 24学級 15,520冊 二中 27学級 16,480冊 計 172学級 95,960冊	
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	小・中学校とも教材・教具の充実・更新を図ることができ、児童・生徒の学習意欲向上及び教職員の指導効率化に寄与した。 今後も、学習指導要領の改訂だけでなく、教科書等も変化していく中で、時代に即した教材・教具の整備に努め、学習に不可欠な教材・教具については、学校のニーズを適切に判断して整備を行っていく。また、故障した備品については、必要に応じて新規購入するだけでなく、故障状況をみて、修繕可能な場合、修繕費で対応していく。 ICT機器の導入については、岩出市教育情報化推進計画に基づき計画的に導入をしていく。新学習指導要領の実施に伴い、ICT教材購入への対応が必要となってくる。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)


岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち																																											
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実																																											
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課																																										
事業名	紀の国緑育推進事業																																												
事業の目的	児童が自然と触れ合う機会を創り、環境学習の効果を高めたい。																																												
事業概要	県が実施する、紀の国森づくり税を財源とした補助事業の助成金を利用する。助成を受けるために、紀の国緑育推進事業補助金交付要綱及びその取扱要領に基づき事業計画書等を作成。それに基づき、学校教育の一環として森林を利用した体験学習を行う。																																												
目標 (評価指標)	小学校実施率 100%	100% 100%	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																																										
達成状況	<p>紀の国緑育推進事業説明会(県)6/9 紀の国緑育推進事業説明会(市)6/28</p> <p>間伐体験実施日(参加者数) 実施場所:日高川町</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>岩出小学校</td><td>10/18</td><td>(61人)</td></tr> <tr><td>山崎小学校</td><td>10/17</td><td>(113人)</td></tr> <tr><td>山崎北小学校</td><td>9/27</td><td>(110人)</td></tr> <tr><td>根来小学校</td><td>9/26</td><td>(73人)</td></tr> <tr><td>上岩出小学校</td><td>10/31</td><td>(73人)</td></tr> <tr><td>中央小学校</td><td>10/24</td><td>(72人)</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td><td>502人</td></tr> </table> <p>事後学習実施日</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>岩出小学校</td><td>1/15</td><td>(58人)</td></tr> <tr><td>山崎小学校</td><td>11/28</td><td>(113人)</td></tr> <tr><td>山崎北小学校</td><td>12/10</td><td>(111人)</td></tr> <tr><td>根来小学校</td><td>12/24</td><td>(73人)</td></tr> <tr><td>上岩出小学校</td><td>11/26</td><td>(73人)</td></tr> <tr><td>中央小学校</td><td>12/28</td><td>(72人)</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">合計</td><td>500人</td></tr> </table>			岩出小学校	10/18	(61人)	山崎小学校	10/17	(113人)	山崎北小学校	9/27	(110人)	根来小学校	9/26	(73人)	上岩出小学校	10/31	(73人)	中央小学校	10/24	(72人)	合計		502人	岩出小学校	1/15	(58人)	山崎小学校	11/28	(113人)	山崎北小学校	12/10	(111人)	根来小学校	12/24	(73人)	上岩出小学校	11/26	(73人)	中央小学校	12/28	(72人)	合計		500人
岩出小学校	10/18	(61人)																																											
山崎小学校	10/17	(113人)																																											
山崎北小学校	9/27	(110人)																																											
根来小学校	9/26	(73人)																																											
上岩出小学校	10/31	(73人)																																											
中央小学校	10/24	(72人)																																											
合計		502人																																											
岩出小学校	1/15	(58人)																																											
山崎小学校	11/28	(113人)																																											
山崎北小学校	12/10	(111人)																																											
根来小学校	12/24	(73人)																																											
上岩出小学校	11/26	(73人)																																											
中央小学校	12/28	(72人)																																											
合計		500人																																											
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																											
事業課題等	<p>自然と触れ合う機会が減少している現代の子どもたちにとって、本事業は貴重な体験ができる事業であり、環境教育としての役割を果たしている。</p> <p>事後学習では、森林体験を振り返り、まとめ学習や作文、間伐材を用いた木工を行うことで、学習効果を高めることができた。</p> <p>今後も、充実した体験・事後学習を行い、子どもたちの自然愛護、環境保護等に関する学習を深めたい。</p>																																												
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																																											

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち
	【基本施策】 学校環境の充実		【重点施策】 教育環境の充実
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	外国青年招致事業		
事業の目的	小中学校の英語の授業において、外国青年の補助により英語を多用した授業を実践することにより、外国語教育の充実及び推進を図る。		
事業概要	外国青年を招致して、ネイティブな授業を実施する。 岩出中学校、岩出第二中学校に2週間ごとに英語授業の助手として活用する。 各小学校では、1週間ごとに外国語活動授業の助手として活用する。 (中学校1名、小学校1名)		
目標 (評価指標)	採用人数	3人 2人	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<p>1学期 (岩中34日、二中34日) 7/24～ 再任用 (中学校・3年目) 7/30～ 再任用 (小学校・2年目)</p> <p>2学期 中学校 岩中37日、二中42日 小学校については、1週間ごとに各校を回る。</p> <p>12/18 中学校ALTについては4年目の就業について引き続き希望する意思があることを確認。小学校ALTについては令和2年9月までの希望であるため、後任のALTを任用する必要はある。</p> <p>1/14 県国際課へ、ALT再任用の配置要望提出</p> <p>3学期 中学校 岩中27日、二中23日 小学校については、1週間ごとに各校を回る。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>英語を専門とする教師が少ない小学校においては、外国語活動の先行実施を行うにあたりALTがいる事で、指導の充実がはかれた。</p> <p>小学校では特に、英語以外の授業についても、ALTの活用を図ったため、日常生活での児童の国際意識にも高揚が見られた。</p> <p>小学校英語専科教員が配置されている学校、学年以外は学級担任が外国語活動の授業を行うため、ALTと教員との授業内容の事前打ち合わせ時間を確実に確保したい。</p> <p>中学校においても教職員と協調し、生徒と朗らかに接することができ、授業だけでなく、その他の活動においても英語でのコミュニケーションが図られた。</p> <p>また、2名のALTとも市民との交流についても積極的であるため、外国語教育の充実と国際交流の進展が図られた。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 教育環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	教育情報化推進事業		
事業の目的	基本的な学習スタンスを大事にしつつ、ICT等の最先端技術を活用した授業改善を図り、新たな学びを創造し、子どもたちの確かな学力と生きる力を育む。		
事業概要	岩出市教育情報化推進本部を設置し、指導主事、校長等学校関係者、情報システム関係担当者等が、教育の情報化における課題や必要となる環境を検討する。教育のICT化に向けた環境整備5カ年計画(岩出市教育情報化推進計画(H30～R4))の策定により、計画的に事業を進める。		
目標 (評価指標)	普通教室への大型モニター設置率	令和4年度までに100%	
達成状況	<p>4/1 岩出市教育情報セキュリティポリシー策定 7/3 校長会にて、校務支援システムの機能概要について説明 アンケートにて、市内の公簿文書の一部統一化に向けた各校の現状把握 7/5 第1回岩出市教育情報化推進本部 7/23 第1回岩出市教育情報化推進委員会 8/1 関西ICT展にて岩出市のICT整備についてパネリストとして登壇 8/8 小学校5・6年生、特別支援学級 大型モニター 計54台 設置 8/28 中学校 タブレット 20台×2校 設置 8～9月 校務支援システム導入に向けた研修会(岩出市内全小中学校にて計8回) 9/6 タブレットPC研修(岩出中) 9/12 タブレットPC研修(岩出二中) 9/25 関西ICT展視察 10月 岩出市内各小学校5・6年生及び担当教員において 「大型提示装置の成果検証に係るアンケート」実施 10/4 実物投影機研修(根来小) 10/17 第2回岩出市教育情報化推進委員会 11/1 和歌山県市町村教育情報化推進協議会 2名出席 11/29 きのくにICT教育公開授業(和歌山市立藤戸台小学校)視察 12/12 第2回岩出市教育情報化推進本部 1/24 「ICT教育環境整備ハンドブック2020」事例取材</p> <p>* 普通教室への大型モニター設置率 44.6% (121台中54台設置) * 校務支援システムについては、各小中学校にて段階的に運用している。根来小・上岩出小については、先駆的に通知表を同システムにより作成し、業務の効率化につながった。</p>		

	<p>先進校視察</p> <p>10/25 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・中学校) 京都市立下鴨中学校 6名</p> <p>11/1 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・小学校) 大阪市立阿倍野小学校 6名</p> <p>11/6 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・小学校) 大阪市立大和田小学校 6名</p> <p>11/22 令和元年度 岩出市ICTを活用した授業力向上研修会 会場:上岩出小学校 16名</p> <p>1/16 学校ICT活用フォーラム(京都会場) 指導主事・係長 計2名出席</p> <p>2/12 GIGAスクール構想端末説明会 2名出席</p> <p>2/21 教育情報化推進委員会 Google来庁 教員10名出席</p> <p>2/24 JAPET来庁・取材 (ICTハンドブック寄稿のため)</p>		
<p>評 価</p>	<p>b</p>	<p>a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下</p>	
<p>事業課題等</p>	<p>・ICT整備に伴う機器の使い方や効果的な活用について、教員に体験的な研修を実施し、児童生徒の確かな学力に向けた授業におけるICT機器の稼働率の向上と効果的な活用を図っていく必要がある。</p> <p>・国の動向が大きく変わり、補助金を活用した校内LANの整備及び児童生徒一人一台PCを目標とした段階的整備に向け岩出市教育情報化推進計画の見直しが必要である。</p> <p>(令和2年度当初計画:小3・4年、中1年の普通教室へ大型モニター設置。 小学校へ各20台のタブレット配備)</p> <p style="text-align: center;">  変更 </p> <p>令和2年度に、小中学校全普通教室へ大型モニター設置。 小学校へのタブレットは、国の動向に合わせて翌年度以降で検討。</p>		
<p>今後の方向性</p>	<p>継続</p>	<p>「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」</p>	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 学力の向上	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	学力向上実践研究事業		
事業の目的	学力向上先進校(地域)における研修や勤務校での実践研究を行うことで、学力向上に向けた専門性とリーダー性を備えた教員(中核教員)を養成と、身に付けた学力向上に効果的な指導方法を活用した授業実践の普及により、児童生徒の学力向上を図る。		
事業概要	(1)教職員の指導力・資質向上を図るため、学力向上先進校(地域)に教員を派遣し、実地研修を行う。(先進校派遣) (2)学力向上に係る研究発表会等に、教員を派遣する。(研究発表会派遣) (3)派遣教員の活用により、研修成果を市全体に普及・啓発し、児童生徒の学力向上に取り組み、自校の学力向上の推進を図る。		
目標 (評価指標)	なし	理由	教職員の指導力・資質向上及び児童生徒の教育内容の充実を目指すため、数値による評価はできないため。
達成状況	<p>10/10・17・28・31 大阪市立大空小学校訪問 小学校教諭 8名 校内研修での報告資料を市内小中学校にも報告</p> <p>10/25 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・中学校) 京都市立下鴨中学校 中学校教諭 6名</p> <p>11/1 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・小学校) 大阪市立阿倍野小学校 小学校教諭 6名</p> <p>11/6 令和元年度岩出市ICTを活用した授業力向上研修会(県外研修・小学校) 大阪市立大和田小学校 小学校教諭 6名</p> <p>11/15 岐阜県大垣市立北小学校訪問 小学校教諭 2名 校内研修での報告資料を市内小中学校にも報告</p> <p>2/7 国立教育政策研究所 教育課程研究協議会 指導主事 1名</p> <p>2/14～15 筑波大学附属小学校訪問 小学校教諭 1名 校内研修での報告資料を市内小中学校にも報告</p> <p>2/14 福井県教育総合研究所研究発表会 指導主事 1名</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・県外の先進校を視察することにより、自校にはない実践的な取り組みを知り、各自の実践に取り入れたり、自校及び市内の各校に伝達することができた。 ・各学校独自に視察校を選定したので、各校の持つ課題解決に向けた研修ができた。 ・ICT機器の導入に当たり、機器を活用した先進校の視察に重点を置いた。 ・伝達講習の後、各校で学校全体の共通の取り組みとして実践し、各校の年度末の指標を明らかにした検証で達成状況をはかっていきたい。 ・中学校の先進校視察は、予定していた福井県敦賀市立粟野中学校への視察が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。 		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 学校給食の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	学校給食運営事業		
事業の目的	学校給食衛生管理基準に基づき、岩出市学校給食共同調理場の設備の整備や食器等の充実を図る。 学校給食の運営に関する事項を審議して、運営の適正化を図る。 地産地消を推進するために、地元産の食材を学校給食の食材として使用する割合の向上をめざす。		
事業概要	学校給食を円滑に提供するための岩出市学校給食共同調理場の設備や食器等の整備について年次計画を立てて進める。 小中学校の代表者やPTA代表者を委員として構成する岩出市学校給食運営委員会を開催して、学校給食運営の課題や学校給食費の徴収について助言等を得る。 地産地消を推進するために、地元産の食材を学校給食の食材として使用する取組を進める。		
目標 (評価指標)	現年徴収率	100% 100%	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<設備の整備や食器等の充実> ○スプーン洗浄機 2台 ○URポット65個 ○アルミバット60個 ○角ランチ皿1,100枚、ボール、うどん丼、深皿、小皿、金網ざる 8月 従来の定期清掃に加えて 調理室の機具の清掃を実施(8/18, 19, 26, 9/1) 焼きもの機の鉄板 台車等の溶接、 スライサーの刃入れ替え、調理場内の修繕箇所の点検 ○ドライ用水切り移動台 2台 ○洗浄室ラック(棚網二段)3台 ○L型運搬車 4台 ○青台車 3台 ○肉専用台車 3台 ○スポットエアコン 2台 <学校給食運営委員会> 6/4 第1回岩出市学校給食運営委員会の開催 委員26名中24名出席 (1)平成30年度学校給食の状況について 地産地消率、残渣取引量、一人あたりの残食量使用済食用油売払 (2)学校給食の現状(給食費)について (値上げした場合の献立表資料の提出依頼がある) 10/29 第2回岩出市学校給食運営委員会の開催 委員26名中25名出席 (1)学校給食費の見直しについて (値上げ資料について協議する) 2/18 第3回岩出市学校給食運営委員会の開催 委員26名中23名出席 (1)令和元年度学校給食の状況について (2)令和元年度学校給食費収納状況について (3)学校給食費見直しのその後について 報告事項…学校給食費の改定案に関する意見募集用紙の設置について 結果報告 値上げした分を給食献立内容の充実に努めていく。 <徴収率> (現年度) 99.69% 前年度比 0.07%増 (過年度) 72.27% 前年度比 4.63%減 支払督促申立 2件 うち地方裁判所への債権の差押0件 (H30年度からの繰越 6件) <地産地消> 岩出市特産品の活用 クレソン8回、ねぎろ大唐3回、黒あわび茸10回 地産地消率 64.1% 前年度比 5.1%増 (米100%、野菜47.5%、果物100%)		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	地産地消の推進はもとより「安心・安全」な学校給食と栄養バランス豊かな給食を提供することで心身の健康と学校生活を豊かにする手助けをしていく。また、旬の食材を多く使用し、美味しい給食を提供することで季節感も一緒に味わえるようにする。 栄養士による給食時間の巡回や食育指導を行うことにより、自分達は、自然の恩恵の上で成り立ち生活をしていることを理解し、環境を守る精神も同時に養う。 給食費の徴収については、学校との連携を強化し、懇談会等保護者と面談する機会を利用して徴収方法の再確認をした業務の取組に努めていく。 給食費の値上げについては、学校給食運営委員会で十分に協議した結果であるため、給食献立内容の充実に努めていく。		
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」
		「完了」	「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち																									
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 家庭・地域との連携																									
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課																								
事業名	コミュニティスクール事業																										
事業の目的	保護者や地域住民などの意向を学校運営に反映させるとともに、保護者や地域住民の学校教育活動への参加・参画を進め、地域に信頼される学校づくりを行う。																										
事業概要	岩出市内各学校に学校運営協議会を設置し、学校や地域が抱える様々な課題を解決するため、学校と保護者や地域住民が連携した取組を行い、地域とともにある学校づくりを行う。																										
目標 (評価指標)	なし	理由	基本的に学校の教育目標に沿った学校運営協議会の取組であり、現状はバックアップしつつ、研修の実施や調整役としての関わりを目標としているため。																								
達成状況	<p>4月 岩出市学校運営協議会委員を任命</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">岩出小学校 13名</td> <td>山崎小学校 10名</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校 13名</td> <td>根来小学校 12名</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校 10名</td> <td>中央小学校 13名</td> </tr> <tr> <td>岩出中学校 14名</td> <td>岩出第二中学校 12名</td> </tr> </table> <p>学校運営協議会開催日</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">岩出小学校</td> <td>第1回(5/23)、第2回(11/15)、第3回(2/13)</td> </tr> <tr> <td>山崎小学校</td> <td>第1回(6/28)、第2回(11/8)、第3回(3/3)※</td> </tr> <tr> <td>山崎北小学校</td> <td>第1回(6/5)、第2回(11/1)、第3回(3/6)※</td> </tr> <tr> <td>根来小学校</td> <td>第1回(5/23)、第2回(11/11)、第3回(2/14)</td> </tr> <tr> <td>上岩出小学校</td> <td>第1回(6/23)、第2回(11/5)、第3回(2/21)</td> </tr> <tr> <td>中央小学校</td> <td>第1回(5/20)、第2回(11/7)、第3回(1/21)、第4回(3/4)※</td> </tr> <tr> <td>岩出中学校</td> <td>第1回(5/23)、第2回(12/5)、第3回(3/12)※</td> </tr> <tr> <td>岩出第二中学校</td> <td>第1回(5/23)、第2回(11/7)、第3回(3/12)※</td> </tr> </table> <p>※3月の山崎・山崎北・中央小と岩出・岩出第二中の学校運営協議会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための学校臨時休業のため中止</p> <p>7/2 きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会 4名 9/30 岩出市コミュニティスクールの推進に係る研修会 42名 2/9 第2回岩出市コミュニティスクールの推進に係る研修会 8名</p>			岩出小学校 13名	山崎小学校 10名	山崎北小学校 13名	根来小学校 12名	上岩出小学校 10名	中央小学校 13名	岩出中学校 14名	岩出第二中学校 12名	岩出小学校	第1回(5/23)、第2回(11/15)、第3回(2/13)	山崎小学校	第1回(6/28)、第2回(11/8)、第3回(3/3)※	山崎北小学校	第1回(6/5)、第2回(11/1)、第3回(3/6)※	根来小学校	第1回(5/23)、第2回(11/11)、第3回(2/14)	上岩出小学校	第1回(6/23)、第2回(11/5)、第3回(2/21)	中央小学校	第1回(5/20)、第2回(11/7)、第3回(1/21)、第4回(3/4)※	岩出中学校	第1回(5/23)、第2回(12/5)、第3回(3/12)※	岩出第二中学校	第1回(5/23)、第2回(11/7)、第3回(3/12)※
岩出小学校 13名	山崎小学校 10名																										
山崎北小学校 13名	根来小学校 12名																										
上岩出小学校 10名	中央小学校 13名																										
岩出中学校 14名	岩出第二中学校 12名																										
岩出小学校	第1回(5/23)、第2回(11/15)、第3回(2/13)																										
山崎小学校	第1回(6/28)、第2回(11/8)、第3回(3/3)※																										
山崎北小学校	第1回(6/5)、第2回(11/1)、第3回(3/6)※																										
根来小学校	第1回(5/23)、第2回(11/11)、第3回(2/14)																										
上岩出小学校	第1回(6/23)、第2回(11/5)、第3回(2/21)																										
中央小学校	第1回(5/20)、第2回(11/7)、第3回(1/21)、第4回(3/4)※																										
岩出中学校	第1回(5/23)、第2回(12/5)、第3回(3/12)※																										
岩出第二中学校	第1回(5/23)、第2回(11/7)、第3回(3/12)※																										
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																									
事業課題等	<p>市内全小中学校8校が、学校運営協議会を設置し、運営協議会委員参加のもと地域と共にある学校づくりがスタートした。各校での学校運営協議会がスムーズに開催できるようサポートが必要である。</p> <p>また、市研修会や県研修会を国の補助金を効果的に運用し実施することができた。特に市研修会では、先進的な活動を行っている有田市のコーディネーターを招聘し、実際の活動内容について詳しく聞くことができ、参加者からも活動の方向性等について質問が出て、有意義な研修となった。</p> <p>今後は、生涯学習課所管事業の「学校支援地域本部事業」と連携を図りながら、各校の活動が活発化するよう支援していく。</p>																										
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																									

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち																											
	【基本施策】 健全育成のための環境づくり	【重点施策】 青少年をとりまく環境の整備																											
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課																										
事業名	児童携帯用防犯ブザー補助事業																												
事業の目的	防犯ブザー購入費の一部を補助することにより、携帯率を高め、児童を犯罪から保護し、危険を防止する。																												
事業概要	各校PTAが防犯ブザーを購入する費用に対して、その1/2を補助する。ただし、児童1人につき1回限りとし、限度額400円。(対象小学校1年生)																												
目標 (評価指標)	小学1年生所持率	80% 80%	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																										
達成状況	<p>【小学1年生所持率】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">平成29年度 74.3%</td> <td style="width: 50%;">【申請者数】</td> </tr> <tr> <td>平成30年度 74.7%</td> <td>岩出小学校 22人</td> </tr> <tr> <td>令和元年度 79.3%</td> <td>山崎小学校 29人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山崎北小学校 42人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>根来小学校 29人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上岩出小学校 19人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中央小学校 41人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計 182人 (前年度155人)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助金額 63,700円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>申請率 38.4% (前年度31.5%)</td> </tr> </table> <p>(参考資料)</p> <p>【他学年所持率】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">小2 74.7% (前年度72.2%)</td> <td style="width: 50%;">小3 63.9% (前年度66.7%)</td> </tr> <tr> <td>小4 58.1% (前年度57.3%)</td> <td>小5 51.9% (前年度50.0%)</td> </tr> <tr> <td>小6 41.1% (前年度35.7%)</td> <td></td> </tr> </table> <p>小学校所持者 1,576人/2,570人 小学校所持率 61.3% (前年度60.1%)</p> <p>中学校所持者 36人/810人 中学校所持率 4.4% (前年度 2.6%)</p>			平成29年度 74.3%	【申請者数】	平成30年度 74.7%	岩出小学校 22人	令和元年度 79.3%	山崎小学校 29人		山崎北小学校 42人		根来小学校 29人		上岩出小学校 19人		中央小学校 41人		合計 182人 (前年度155人)		補助金額 63,700円		申請率 38.4% (前年度31.5%)	小2 74.7% (前年度72.2%)	小3 63.9% (前年度66.7%)	小4 58.1% (前年度57.3%)	小5 51.9% (前年度50.0%)	小6 41.1% (前年度35.7%)	
平成29年度 74.3%	【申請者数】																												
平成30年度 74.7%	岩出小学校 22人																												
令和元年度 79.3%	山崎小学校 29人																												
	山崎北小学校 42人																												
	根来小学校 29人																												
	上岩出小学校 19人																												
	中央小学校 41人																												
	合計 182人 (前年度155人)																												
	補助金額 63,700円																												
	申請率 38.4% (前年度31.5%)																												
小2 74.7% (前年度72.2%)	小3 63.9% (前年度66.7%)																												
小4 58.1% (前年度57.3%)	小5 51.9% (前年度50.0%)																												
小6 41.1% (前年度35.7%)																													
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																											
事業課題等	<p>入学前に防犯ブザーを購入し所持している児童も多く、申請率は高くないが、所持していない児童の保護者の経済的な負担が軽減されることにより、防犯ブザー所持率は高まっており、児童の安全確保のためには、本事業の果たす役割は大きく、事業の継続が必要。</p> <p>学年が上がるにつれ、防犯ブザー所持率は下がっていくが、前年度と比べると僅かずつではあるが、所持率は高まっている。</p> <p>さらに所持率を高めるため、本事業の対象者への周知を徹底する。</p>																												
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																											

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 健全育成のための環境づくり	【重点施策】 青少年活動の推進	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	中学校防災訓練及び防災ジュニアリーダー育成事業		
事業の目的	中学生の危機意識を高めるとともに、災害時の地域防災活動において中心的な役割を担うことを意識づけるために防災訓練を実施する。		
事業概要	防災訓練は、各中学校を会場に3年生全員を対象として実施する。 防災ジュニアリーダー育成事業は、夏休みの2日間、那賀消防組合消防本部及び中消防署を会場に、中学生の希望者を募り実施する。本事業の受講者は、岩出市地域防災訓練にも参加する。		
目標 (評価指標)	対象者 (中学校3年生)	全員参加 全員参加	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<p>4/9(火) 那賀消防組合中消防署・消防本部防災センターにて講座内容の打ち合わせ</p> <p>4/24(水) 防災ジュニアリーダー育成講座のポスター作成を各中学校へ依頼</p> <p>防災訓練事前講習 7/18(木)岩出中学校 11名参加 7/16(火)岩出第二中学校 26名参加</p> <p>防災訓練(対象者)中学3年生 7/22(月)岩出第二中学校 対象 256人 場所 屋内運動場等 7/23(火)岩出中学校 対象 256人 場所 屋内運動場等</p> <p>8/5(月)、6(火) 防災ジュニアリーダー育成講座 対象 市立中学生全員 場所 那賀消防組合 参加 25名 (岩出中学校 11名 岩出第二中学校 14名)</p> <p>10/27(日)岩出市防災訓練 中央小学校 防災ジュニアリーダー参加17名 新聞紙スリッパの作成方法プレゼンテーションと作成補助は、 市民から大変好評であった。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校防災訓練の訓練内容の充実。 ・災害発生前の自助努力等に関する研修と津波防災の危機回避の意識を高めるため、消防署に依頼し、視聴覚教材を用いた津波防災学習を実施。津波への危機回避に対する意識の向上を図った。 ・防災ジュニアリーダー受講生アンケートを実施。全ての受講生が、講座の内容の必要性に肯定的な回答が得られた。アンケート結果を次のプランに活用する。 		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 健全育成のための環境づくり	【重点施策】 青少年の自立と成長の促進	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	教育総務課
事業名	和歌山を元気にする職場体験事業		
事業の目的	職場体験事業を実施することにより、生徒に望ましい勤労観及び職業観を身に付けさせる。		
事業概要	各中学校において、事業所の協力を得て、中学2年生を対象に3日間の職場体験を実施する。		
目標 (評価指標)	なし	理由	参加生徒数や受け入れ事業数、参加率等は目標値として妥当ではないため。
達成状況	<p>4/15 平成31年度第1回岩出市・紀の川市中学生職場体験学習担当者会開催 11人参加</p> <p>4/23, 5/9 紀の川市教委と合同で、那賀地方の各商工会、JAを訪問し、協力を依頼</p> <p>8/6 保険料見積依頼</p> <p>各事業所へ依頼や礼状を送付し、合計174事業所を確保。 中学2年生全生徒数分を賄うことができている。</p> <p>事前に中2の参加生徒に保険加入</p> <p>両中学校において、接遇マナー教室として、講師謝金を予算に反映し、羽山京子さん(日本現代作法会)に依頼、マナー教室を実施した。</p> <p>岩出中学校(2年生対象) 9/18(水)～9/20(金)に実施 71事業所に221人参加</p> <p>岩出第二中学校(2年生対象) 9/4(水)～9/6(金)に実施 103事業所に245人参加</p> <p>2/13 令和元年度第2回岩出市・紀の川市中学生職場体験学習担当者会開催</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>多くの生徒を受け入れる事業所数の確保のため、商工会との連携を強化し、より多くの職種の事業所の確保を図りたい。</p> <p>体験内容によりケガや事故のリスクが異なるため、安全安心な体験活動実施のために、保険内容の充実には今後も柔軟に対応する必要がある。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】生涯学習できるまち	
	【基本施策】 学校環境の充実	【重点施策】 家庭・地域教育との連携	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	学校支援地域本部事業		
事業の目的	学校・家庭・地域が一体となって子どもの育ちや学びを支える取り組みを推進する		
事業概要	学校支援・学習支援・校内環境整備など学校支援ボランティアが学校と協力し活動		
目標 (評価指標)	登録者人数 —	50名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<p>学校が求める必要な支援を地域のボランティアが学校と協力し活動する。</p> <p>ボランティア登録者人数48名</p> <p>地域の方々による学校支援ボランティアの活動により、授業補助等の支援を実施。</p> <p>平成31年度(令和元年度)で、市内小・中学校で運営協議会を開設、各種関係団体の方が委員となっている(根来小学校においては、学校本部支援事業のコーディネーターも委員として参加)</p> <p>【根来小学校で実施】 根来地域共育コミュニティ本部の地域共育コーディネーターが学校の求めに応じ、様々な支援を行っている。 支援内容として、1年生の下校引率や運動会の手伝い。授業補助支援は、家庭科の支援や書道、校外授業の補助や調理実習など、2月下旬からの支援は新型コロナウイルスの影響による休校で中止となった。</p>		
評価	d	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	他地域において、地域コーディネーター、ボランティアなどの人材の確保。 新型コロナウイルス感染症対策と活動の実施		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 健全育成のための環境づくり	【重点施策】 青少年をとりまく環境の整備	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	青少年健全育成事業(青少年育成市民会議事業)		
事業の目的	家庭・学校・地域社会と行政が連携し、安全な環境づくりを目指し、次世代を担う青少年の健全な育成を図る。国、県の実施要綱に基づいた取り組みの実施に努め、効果を図る。		
事業概要	青少年の健全育成を図るため、様々な分野から働きかけを行い、総合的に効果が上がるよう取り組む。(活力ある地域活動・家庭教育支援活動・意識啓発のための活動・関係機関との連携、情報収集・子どもを守るための活動)		
目標 (評価指標)	なし	理由	催し・イベントに参加してもらう各校区別の対象者人数が年度毎に変更し目標設定の数値化が困難であるため
達成状況	<p>【平成31年度 青少年育成市民会議】 地区委員356名、本部委員54名、育成会55名 合計465名</p> <p>4/19～4/25 小中学校参観日に合同街頭啓発実施</p> <p>5/10 市民会議定期総会開催 172名参加</p> <p>7/16 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」講演会開催 講師 和歌山大学教育学部 教授 船越 勝氏 「地域からすべての子どもたちの健やかな成長を」 220名参加</p> <p>7/18 夏の子どもを守る運動合同啓発(ミレニア) 各種団体、警察、学校合同で啓発物資及びチラシ 600枚配布 37名参加</p> <p>9/7 第14回青少年育成市民大会開催 青少年健全育成協力団体感謝状贈呈 「絆」ポスター表彰、展示261点 岩出中学校・岩出第二中学校合唱部演奏、少年の主張発表、 和太鼓集団「和響」さん 515名参加</p> <p>10/14 市民運動会啓発 子どものメッセージをつけた物資 894個配布 参加者12名</p> <p>11/1 育成だより全戸配布(約22,500部)</p> <p>11/24 スポレクフェスタ開催(400名参加)</p> <p>12/20 冬の子どもを守る運動合同啓発(ミレニア) 団体、警察、学校で啓発物資及びチラシ 600枚配布 参加人数36名</p> <p>1/25 小学校区別(合同)懇談会開催 150名参加 ① 講演 ひきこもりの明日を紡ぐ～支援の現場から～ 講師 南 芳樹氏 ② 協議</p> <p>3/24 育成通信発行</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	関係団体や家庭・学校・地域・行政が連携をし、安全な環境づくりを目指します。また、地域や世代を超えた地域活動の推進やリーダーの育成など次代を担う青少年の健全育成に努める。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 心豊かな人が育つまち	
	【基本施策】 健全育成のための環境づくり		【重点施策】 青少年の自立と成長の促進	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課	
事業名	成人式事業			
事業の目的	新成人を励ますとともに、社会人としての自覚を促す。			
事業概要	式典、イベント			
目標 (評価指標)	参加者人数 —	500名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	令和元年度 R2.1.13(祝) 開催 午前9時30分受付 第一部 式典 午前 10時～ 第二部 記念イベント 午前 10時40分～ 対象者 (男)361名 (女)359名 (計)720名 出席者 (男)256名 (女)265名 (計)521名 521/720=72.4%		平成30年度 H31.1.14(祝) 開催 午前9時30分受付 第一部 式典 午前 10時～ 第二部 記念イベント 午前 10時40分～ 対象者 (男)336名 (女)363名 (計)699名 出席者 (男)235名 (女)255名 (計)490名 490/699=70.1%	
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	新成人に記念に感じてもらえる成人式の開催を目標に、イベント選定の工夫や、新成人をスムーズに受付をし会場へ誘導するため、職員協力を依頼し、リハーサルや協力職員への役割、事前説明を行う。また成人年齢引き下げ(2022年4月)に向け、近隣市町村の動向を注視していく。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実		【重点施策】 家庭・地域教育の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日		担当課	生涯学習課
事業名	放課後子ども教室推進事業			
事業の目的	安全・安心な子どもの居場所を設け、地域の方々の参画を得て、勉強や文化活動、地域住民との交流活動を推進する。			
事業概要	学習活動、文化活動、地域住民との交流活動			
目標 (評価指標)	年間実施目標	200日	長計後期【平成32年度】	
	—	—	地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>【放課後子どもプラン運営委員会】 社会教育委員会議議長、青少年育成市民会議委員長、保護司会会長、民生・児童委員協議会会長、更生保護女性会会長、小学校PTA会長、小学校長代表、教育総務課長で構成。</p> <p>市内6小学校で75教室、延216日放課後子ども教室を実施。 延5,409名の児童が参加し、今年度においては、新規メニューとしてヒップホップダンスを実施した。 また、勉強や文化的な活動(科学工作・英語、茶道・華道・絵手紙など)地域住民との交流活動(昔の遊びや マジック)、伝統文化を継承する活動(根来の子守唄)により、子どもたちが地域社会の中で、地域の方々と心豊かで健やかに育まれる活動が推進できた。</p>			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	<p>30年度より、令和2年度の英語教育義務化の完全実施が1年の前倒し、31年度よりの実施に伴い、授業科目、時間の変更となり、学校との活動日程時間の調整。 新規教室等の講師及びサポーター等、教室協力者の調整・確保</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策と活動の実施</p>			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 家庭・地域教育の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	生涯学習を考えるつどい事業		
事業の目的	より豊かに充実した生活を送るための生涯学習機会を提供する		
事業概要	文化祭の前夜祭として生涯学習を考えるつどいを開催		
目標 (評価指標)	参加人数目標	400名	長計後期【平成32年度】
	—	—	地方創生【平成31年度】
達成状況	<p>11月1日、箏アンサンブル「ふわり」(出演者:小林鈴純、清水利美、中西裕子、植野由美子)を迎え、生涯学習を考えるつどい「箏と尺八で綴る邦楽コンサート～楽器のことや曲のこと、お話を交えながらお届けします♪～」と題して邦楽コンサートを開催。</p> <p>演奏者の奏でる音色を聴きながら、どこかで耳にしたことのある名曲などを箏と尺八の表現により、皆様方の芸術に対する感性をより豊かにするとともに、故郷や季節を感じる舞台公演を開催することができた。</p> <p>参加者:351名</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>世代を超えて支持される内容等の検討(演芸・出演者)、交流の広がりが期待でき、文化・芸術を感じられる内容の検討に取り組む。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策と活動の実施</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 公民館事業の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	公民館事業(ふれあい・成人・家庭教育)		
事業の目的	60歳以上対象のふれあい学級、20歳以上対象の成人講座、幼稚園・保育園(所)の保護者対象の家庭教育学級を開催し、相互の交流や積極的に地域社会に寄与するための学習活動を行う		
事業概要	ふれあい学級 年11回/5学級、成人講座 年10回、家庭教育学級 年10回		
目標 (評価指標)	①成人講座、家庭教育学級参加者各1,000名 ②ふれあい学級参加者 2,000名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>成人講座 毎月1回あいあいセンターで実施(12月休講) 988名参加</p> <p>ふれあい学級 毎月市内5会場で実施(3月休講)1,754名参加 3月の閉講式・人権講座は、県内での新型コロナウイルス感染の確認により中止</p> <p>家庭教育学級 市内10会場で実施 972名</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>市民の学習ニーズに対応した講座メニュー・講演会講師などの選定において、よりよい事業となるよう、また募集の仕方についても工夫するなど努めていく。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策と活動の実施</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 公民館事業の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	公民館教室事業		
事業の目的	アンケート調査をもとに、市民のニーズにあった教室を開催し、学習機会の提供と、学ぶことの楽しさと市民のふれあいの場をつくる。高度情報化社会に対応するため、市民のパソコン操作の基礎能力の習得を目的とする。		
事業概要	市民一人ひとりが生涯学習の各過程において、適切に学習できる”場”と”機会”の拡大を図り、あらゆる世代に親しまれる公民館活動を展開する。 公民館文化教室・パソコン基礎教室		
目標 (評価指標)	申込者人数 —	400名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	<p>・公民館文化教室:知識や技術を身につけるだけでなく、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めることを目的としている。教室修了者の一部の方は教室生同士でサークルを結成し、学習を継続されている。</p> <p>【令和元年度実施教室】 初歩の書道・書道に親しむ・書道(仮名・硬筆)・英会話(初級)・初心者のための手話・男の料理 健康料理・季節のお菓子と簡単パン・デコアート・陶芸・健康体操・のびのび体操 ガーデニング(入門)・子どもクッキング・少年少女コーラス 延参加人数 計3,126名 (平成30年度 計3,326名) 新型コロナウイルス感染防止対策として2/28から3/31の期間で予定していた講座は中止 ※実績内訳別紙</p> <p>・パソコン基礎教室:パソコンの基礎的な技術の習得と、共に学習する仲間として人と人の結びつきを深めることを目的としている。多くの方がパソコンの基礎的な技術を取得されるとともに、交流も深められた。</p> <p>【令和元年度実施教室】 パソコン教室A(午前の部)・パソコン教室B(午後の部) 延参加人数 計688名 (平成30年度 計418名) ※実績内訳別紙</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	アンケート調査に基づき、市民のニーズにあった教室の実施に努め、健康、のびのび体操等の人気教室は継続し、定員減少傾向にある教室の見直しや対象者の見直しを検討検討すべきである。		
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」 「完了」 「継続」

令和元年度 文化教室 実績

教室名	定員	応募数	応募率	延参加人数	開催回数
初歩の書道	30人	20人	67%	340人	20回
書道に親しむ	30人	19人	63%	330人	20回
書道(書苑)	30人	19人	63%	153人	9回
英会話(初級)	30人	18人	60%	216人	20回
のびのび体操	20人	34人	170%	308人	22回
季節のお菓子と料理	20人	20人	100%	168人	10回
男の料理	20人	16人	80%	112人	10回
健康料理	20人	21人	105%	178人	10回
初心者のための手話	30人	28人	93%	397人	20回
デコアート	20人	8人	40%	66人	10回
陶芸	15人	11人	73%	98人	10回
健康体操	20人	24人	120%	364人	19回
ガーデニング(入門)	20人	19人	95%	150人	10回
子どもクッキング	20人	11人	55%	75人	10回
少年少女コーラス	-	8人		171人	30回
	325人	276人	85%	3,126人	230回

令和元年度 パソコン教室 実績

パソコンA	18人	15人	83%	327人	26回
パソコンB	18人	16人	89%	361人	26回
計	36人	31人	86%	688人	52人

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯学習の充実	【重点施策】 公民館事業の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	地区公民館運営事業		
事業の目的	生涯学習を推進するための拠点として機能の整備の充実を図る。		
事業概要	地区公民館(8館)の運営・管理		
目標 (評価指標)	なし	理由	それぞれの施設に応じた緊急性の高い修繕を優先し、対応しているため
達成状況	<p>管理人雇用 11人 4月1日辞令交付 10月1日管理人辞令交付、管理人会</p> <p>・公共下水道接続工事(岩出、上岩出) 契約4/25 完了7/18(上岩出) 7/25(岩出)</p> <p>・その他修繕 中央……図書室雨漏り及び自転車置場屋根修繕(6/24)、 玄関センサーライト(7/8)、 駐車場水銀灯(8/23)、 受水槽ポールタップ(8/26)、 屋上防水修繕(1/23) 岩出……ガス元栓(5/31)、玄関庇防水修繕(6/14)、自動ドア修繕(6/25) 車イスタイヤ(7/9)、コンクリート会所(9/26) 山崎……調理室換気扇(6/28) 上岩出…会議用テーブル天板(11/25) 紀泉台…男子トイレドア(8/23) 根来……女子トイレ(6/18)、受水槽天井部補強及び外部劣化防止(8/1) 桜台……玄関ダウンライト(7/5)、1階ロビーエアコン(7/12)、 水銀灯取替(8/23) 船山……跡地造成工事 駐車場、ペタンク場整備(9/30)</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	施設の安全と快適性の確保と、管理人の能力向上が図れるよう随時管理人会やミーティング等で指導していく。		
今後の方向性	継続	「廃止」	「見直し」 「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進	【重点施策】 スポーツレクリエーションの振興	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	スポーツ推進委員会運営事業		
事業の目的	市民一人ひとりが生きがいを持って人生を送ることのできる活力ある町づくりの実現に向け、スポーツを通じて健康づくりの生涯学習を推進するため、地域住民との連携の中で、スポーツの企画・立案・実施を行い、生涯スポーツの振興を図る。		
事業概要	地域に根ざしたスポーツやレクリエーションの振興事業の企画・立案・実施並びに普及活動を展開		
目標 (評価指標)	なし	理由	スポーツ・レクリエーション事業の企画・立案・実施や普及活動の展開が目的であるため
達成状況	<p>スポーツ推進委員会の定期開催(10回)。 ニュースポーツ教室の開催(ボッチャ、バスケピンポン、キンボール) ニュースポーツ教室開催数及び参加者数 2回 121名(第3回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 市民運動会・ジュニア駅伝選手サポートに関し、事業実施の協力を得た。</p> <p>スポーツ推進委員(定員20名) 職務 ①スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整を行うこと。 ②住民の求めに応じてスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導を行うこと。 ③住民のスポーツ活動を促進するための組織の育成を図ること。 ④学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し、協力すること。 ⑤スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事又は事業に関し、求めに応じ協力すること。 ⑥住民に対し、スポーツについての理解を深めること。 ⑦その他住民のスポーツの推進のため指導及び助言を行うこと。</p> <p>事業実施の協力を得ている事項 市民運動会における演技・プログラムの企画運営、ジュニア駅伝における選手サポート、岩出マラソン大会の運営協力、スポーツ・レクリエーション活動の企画運営、成人講座</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>ニュースポーツの普及においては、まだまだ市民への浸透は薄いですが、ニュースポーツ体験会の参加者数は少しずつ増加している。新たな種目の企画・運営を図り、市民への「体育・スポーツの振興」、「生涯スポーツの普及」、「スポーツで健康な体力づくり」への意識を高め、スポーツ実施率に向上に取り組むとともに、市の将来像である「活力あふれるまち ふれあいのまち」の実現を目指す。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツレクリエーションの振興	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ少年団等助成事業			
事業の目的	スポーツ少年団の普及と育成及び活動の活発化を図り、青少年にスポーツを振興し、もって青少年の心身の健全な育成を図る。			
事業概要	市スポーツ少年団各団への助成			
目標 (評価指標)	団員者人数 —	1,000名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>少年団数については、18団である。</p> <p>平成28年度 17団 627名 2,244,000円(補助額) 平成29年度 17団 654名 2,244,000円(補助額) 平成30年度 18団 714名 2,244,000円(補助額) 令和元年度 18団 650名 2,244,000円(補助額)</p> <p>大会参加実績 別紙</p> <p>その他 各団が団員募集を行う際に、総合体育館掲示板に通年で募集チラシを貼付していただくなど、団員確保に向けた手立てとできた。</p>			
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	<p>目標値には達していないため、未加入少年スポーツの取り組みや各団体へ団員の増についての方策を探るとともに、スポーツ離れにならないよう、小学校などに団員募集チラシを配置していただくなど、団員数の増加を図る。</p> <p>児童・生徒にいかにスポーツの魅力を発信できるか、また、生涯スポーツの裾野を拡大させられるかということが重要であり、団員数の多少に関わらず、継続検討しなければならぬ。</p>			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

達成状況	<p>大会成績 (全国)</p> <p>全農杯2019年全日本卓球選手権大会(ホープス・カブ・バンビの部) 第35回若葉カップ全国小学生バドミントン記念大会 第32回全国ハンドボール大会 第33回全国ホープス西日本ブロック卓球大会 文部科学大臣杯争奪第28回日整全国少年柔道大会 JOCジュニアオリンピックカップ2019年全日本卓球選手権大会(カデットの部) 2019少林寺拳法全国大会 in あいち 第28回全国小学生バドミントン選手権大会 天皇杯・皇后杯 2020年全日本卓球選手権大会(一般・ジュニアの部) TOKYO OPEN 2020 第72回東京卓球選手権大会 第17回全国ホープス選抜卓球大会</p> <p>(近畿)</p> <p>第32回近畿小学生バドミントン大会(団体戦) 第28回全国小学生バドミントン選手権大会近畿ブロック予選会</p> <p>(県)</p> <p>高円宮賜杯第39回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント和歌山県大会 高円宮賜杯第39回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメント和歌山県大会 かんぽ生命ドリームカップ 第39回全日本バレーボール小学生大会和歌山県決勝大会 第50回和歌山県スポーツ少年団総合競技大会 第50回和歌山県スポーツ少年団総合競技大会 第13回ナガセケンコー旗大会 第13回佐川印刷旗近畿学童秋季大会 マクドナルド・カップ第35回学童大会(C級)兼第3回佐藤薬品工業旗近畿学童軟式野球4年生大会 令和元年度第40回和歌山県小学生バレーボール選手権大会</p>
------	---

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ・レクリエーションの振興	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課	
事業名	体育協会助成事業			
事業の目的	市民の健全な体育及びレクリエーションの奨励に努め、社会人及び青少年の運動競技の振興とその育成強化を補助する。			
事業概要	体育協会への補助			
目標 (評価指標)	会員者人数 —	2,000名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>体育協会21団体に対して補助を行うことで、各協会の運営について支援することができた。市民運動会をはじめとする各市体育行事の運営に関し、事業実施の協力を得ることができた。</p> <p>平成29年度 21協会(56団体) 1,444名 1,963,000円(補助額) 平成30年度 21協会(59団体) 1,531名 1,963,000円(補助額) 令和元年度 21協会(60団体) 1,446名 1,963,000円(補助額)</p> <p>事業実施の協力を得ている市行事 市民運動会(ニュースポーツコーナー・体カテスト・アトラクション)、市マラソン大会、クリーン缶トリー運動イン岩出</p> <p>大会参加実績 (全国) 第13回全国グラウンドゴルフレディス徳島県交歓大会 ねんりんピック紀の国わかやま2019(グラウンドゴルフ競技) ねんりんピック紀の国わかやま2019(パークゴルフ競技) (近畿) 第25回近畿地区グラウンドゴルフ交歓大会 (県) 第31回和歌山県レディース選手権大会 第35回全日本ゲートボール選手権大会和歌山県予選大会 第6回和歌山県リレーション3(ゲートボール)大会 第35回全日本ゲートボール選手権大会和歌山県予選 第36回和歌山県ゲートボール選手権大会</p>			
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	<p>スポーツ離れに歯止めをかけるべく、新たな団体の協会への加入促進を図っている。積極的に協会加入を促しているところもあれば、一部の協会は高齢化し、新規協会員の確保に向けて積極性がないところもあるため、それらの団体に対するフォローが必要である。</p> <p>各協会がチラシ等で新規協会員を募る場合、総合体育館の掲示板利用など、機会の提供に努めなければならない。</p> <p>また、市民運動会においても、引続き、ニュースポーツコーナーで競技の魅力を知ってもらい、新規協会員獲得に繋げなければならない。</p>			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進	【重点施策】 スポーツ・レクリエーションの振興	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	大会等選手派遣補助事業		
事業の目的	スポーツ活動の振興とスポーツ活動団体の育成を図るため、各種スポーツ大会の出場に要する経費の一部を補助する。団体・個人への旅費補助		
事業概要	全国・近畿・県大会への補助(体育協会、スポーツ少年団)		
目標 (評価指標)	なし	理由	全国大会等に出場する場合の補助であるため目標設定に適さないため
達成状況	<p>本年度は、全国大会12件、近畿大会3件、県大会11件、計26件の派遣補助を行い、スポーツの振興を図ることができた。</p> <p>(体育協会 3団体 全国3件、近畿1件、県3件) (スポーツ少年団 10団体 全国9件、近畿2件、県8件)</p> <p>平成29年度 5団体 987,410円(補助額) 平成30年度 12団体 1,659,740円(補助額) 令和元年度 13団体 830,220円(補助額)</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	スポーツ少年団・体育協会の各団体の全国・近畿・県大会への出場回数が把握し難いことや、各大会会場の変更により遠方となった場合に補助額が増大するため、事前に予算を正確に見積もることが困難な場合もある。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ・レクリエーションの振興	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日		担当課	生涯学習課
事業名	スポーツ・レクリエーション事業			
事業の目的	多様化する市民のスポーツ・レクリエーションニーズを把握し、市民のスポーツへの関心や参加意欲を向上させ、交流を促進するため、スポーツ大会やスポーツ教室などを開催する。			
事業概要	市民スポーツ大会・教室の開催			
目標 (評価指標)	ニュースポーツ教室参加者数 —	100名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>各種ニュースポーツ教室を実施するとともに、近畿大学スポーツフェスティバルと共催することで、ニュースポーツを広く周知するとともに、スポーツに親しんでいただくきっかけとできた。</p> <p>近畿大学スポーツフェスティバル(7月) 参加者数38名 近畿大学スポーツフェスティバル(12月) 参加者数64名</p> <p>【実施種目】 ポッチャ、カローリング、スラックライン、キンポールバレー、ドッチビー、カローリング、ストラックアウト、フリスビー的当て、体力測定</p> <p>ニュースポーツ教室(計121名) 第1回(1月) 参加者数62名 実施種目:ポッチャ、バスケットピンポン、キンポール、スラックライン、カローリング、ストラックアウト、フリスビー的当て</p> <p>第2回(2月) 参加者数59名 実施種目:ポッチャ、バスケットピンポン、バブルサッカー、スラックライン、カローリング、ストラックアウト、フリスビー的当て</p> <p>第3回(3月) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	馴染みがないニュースポーツであるため、市広報やウェブサイト掲載等、ニュースポーツの魅力を広く周知し、教室や講習会への積極的な参加を促す。			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち																					
	【基本施策】 生涯スポーツの推進	【重点施策】 スポーツ事業の充実																					
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課																				
事業名	市マラソン大会事業																						
事業の目的	市民及び参加者に、健康・体力づくりをするための生涯スポーツの普及と振興を推進するとともに、マラソン大会を開催することにより、岩出市を広く内外にアピールする。																						
事業概要	一般15km・5km 小学生3km ファミリー2km(仮装含む)に分け早春の根来路を走る。																						
目標 (評価指標)	エントリー人数 —	3,000名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																				
達成状況	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。 大会中止に伴う参加料の返金はないが、有料種目エントリー者については、大会参加賞(タオル、Tシャツ等)に加え、市特産物黒あわび茸の佃煮(一般2,500円エントリー者のみ)を送付し、市のPRをおこなった。</p> <p>平成28年度 エントリー者数3,234名 参加者数2,731名 平成29年度 エントリー者数2,974名 参加者数2,679名 平成30年度 エントリー者数3,008名 参加者数2,348名(雨天) 令和元年度 エントリー者数2,973名 参加者数 0名</p> <p>エントリー者数推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内</td> <td>1,346名</td> <td>1,256名</td> <td>1,303名</td> <td>1,466名</td> </tr> <tr> <td>市外</td> <td>1,888名</td> <td>1,718名</td> <td>1,705名</td> <td>1,507名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,234名</td> <td>2,974名</td> <td>3,008名</td> <td>2,973名</td> </tr> </tbody> </table> <p>事業実施の協力を得ている団体 体育協会、スポーツ少年団指導者協議会、スポーツ推進委員会、交通指導員会、商工会、観光協会、生活研究グループ協議会、紀の里農業協同組合、岩出まちづくり協議会、近畿大学生物理工学部、真義真言宗根来寺、和歌山バス那賀株式会社那賀営業所、「ねごろ歴史の丘」観光推進協議会、区長会、小中学校長会</p>				H28	H29	H30	R1	市内	1,346名	1,256名	1,303名	1,466名	市外	1,888名	1,718名	1,705名	1,507名	計	3,234名	2,974名	3,008名	2,973名
	H28	H29	H30	R1																			
市内	1,346名	1,256名	1,303名	1,466名																			
市外	1,888名	1,718名	1,705名	1,507名																			
計	3,234名	2,974名	3,008名	2,973名																			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																					
事業課題等	<p>目標であるエントリー者数についてはおおよそ達成できたところだが、実施内容について、関係各所から意見を聴取し、参加意欲を増進できるような内容とすることで、参加者の増に繋げていく必要がある。</p> <p>最重要課題である安心・安全の確保については、現在まで大きな事故は発生していないものの、あらゆるリスクを想定し、参加者の安全確保に向けた取り組みを引き続き行っていく。</p> <p>また、根来歴史の丘と本事業を上手くタイアップさせることで、市の観光振興についても一層貢献できるよう、努めていく必要がある。</p>																						
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																					

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】生涯学習できるまち																						
	【基本施策】生涯スポーツの推進		【重点施策】スポーツ事業の充実																						
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課																						
事業名	市民運動会事業																								
事業の目的	老若男女の市民が一同に会し、スポーツ・レクリエーション活動に親しみ、市民相互の親睦とスポーツを通しての健康・体力づくりを行う動機付けを図るとともに、市民の交流を深める。																								
事業概要	参加者が体育の日を一日楽しめるよう、運動会種目及びアトラクションを設定																								
目標(評価指標)	参加人数	10,000人 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																						
達成状況	<p>参加者については、当日雨天にもかかわらず、6,034名の参加があった。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">参加者数推移</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 50%; text-align: center;">各年度採用新種目</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>6,914名</td> <td>もしかしてけど、それって割って入れるの？じょうずに割らなきゃダメよ！きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>8,931名</td> <td>「バックーン!!」からの玉入れ、紀の国いわで国体、きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>8,571名</td> <td>とにかく明るい玉入れ、リオから東京へ 感動をありがとに力合わせて～防災を知ろう～</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>8,606名</td> <td>スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せボウリングマン</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>8,958名</td> <td>玉入れ半端ないって、2019ねんりんピック岩出はペタンク</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>6,034名</td> <td>翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ</td> </tr> </table> <p>実行委員会開催 8月、11月(反省会)</p> <p>参加者増に繋げるための方策として、一般参加者対象の種目について、毎年、見直しを行っている。</p>				参加者数推移		各年度採用新種目	平成26年度	6,914名	もしかしてけど、それって割って入れるの？じょうずに割らなきゃダメよ！きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな	平成27年度	8,931名	「バックーン!!」からの玉入れ、紀の国いわで国体、きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな	平成28年度	8,571名	とにかく明るい玉入れ、リオから東京へ 感動をありがとに力合わせて～防災を知ろう～	平成29年度	8,606名	スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せボウリングマン	平成30年度	8,958名	玉入れ半端ないって、2019ねんりんピック岩出はペタンク	令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ
参加者数推移		各年度採用新種目																							
平成26年度	6,914名	もしかしてけど、それって割って入れるの？じょうずに割らなきゃダメよ！きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな																							
平成27年度	8,931名	「バックーン!!」からの玉入れ、紀の国いわで国体、きいちゃん・そうへいちゃんに負けるな																							
平成28年度	8,571名	とにかく明るい玉入れ、リオから東京へ 感動をありがとに力合わせて～防災を知ろう～																							
平成29年度	8,606名	スカッと割ってスカッと玉入れスカッと岩出市、倒せボウリングマン																							
平成30年度	8,958名	玉入れ半端ないって、2019ねんりんピック岩出はペタンク																							
令和元年度	6,034名	翔平・なおみに負けるな！くす玉割って玉入れ																							
評価	c	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																							
事業課題等	<p>実施内容について、マンネリ化の傾向が見られるので、関係各所から意見を聴取し、魅力ある運動会を実施する。また、スポーツ推進委員会による演技種目・アトラクション・ニュースポーツコーナー等、趣向を凝らした運動会となるよう会議を重ね、より良いものになるよう努める。</p> <p>なお、実行委員会反省会で示された開会式の時間短縮等については、継続的に改善が求められている事柄であるのと同時に、運動会のメイン競技でもある地区対抗リレーの参加者を募るのに大変苦慮している。</p> <p>次回より、雨天時においては入場門等にテントを増設するとともに、雨天時用のプログラムを事前に策定する。</p>																								
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																							

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち																																		
	【基本施策】 生涯スポーツの推進	【重点施策】 スポーツ環境の充実																																		
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課																																	
事業名	スポーツ施設運営事業																																			
事業の目的	市民に安全かつ快適に施設を利用してもらい、気軽にスポーツ・レクリエーション活動を楽しむとともに、健康づくりや交流を深めるための場を提供する。健康と体力の増進を図るとともに、催し物の充実を図る。																																			
事業概要	市民に安全かつ快適に施設を利用してもらうため、日々施設内点検を心がけるとともに、サービス向上に努める。 アリーナを無料開放し、卓球・バドミントン等のスポーツに触れ合ってもらい、体力づくりや余暇の楽しみとしていただく。																																			
目標 (評価指標)	施設利用者人数	350,000名 345,000名	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																																	
達成状況	<p>フリー開放(アリーナで遊ぼう)については、2回実施。(6、12月) ニュースポーツ教室を1月、2月、に開催して、ポッチャ、バスケットピンポン、キンボール等の競技を実施。 施設の整備等に関しては、職員の巡回や定期点検により、利用者に安全に施設を利用してもらっている。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">施設利用者数</th> <th style="text-align: center;">(令和元年度)</th> <th style="text-align: center;">(平成30年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合体育館</td> <td style="text-align: right;">57,175人</td> <td style="text-align: right;">80,164人</td> </tr> <tr> <td>市立体育館</td> <td style="text-align: right;">42,327人</td> <td style="text-align: right;">48,374人</td> </tr> <tr> <td>スポーツ広場</td> <td style="text-align: right;">55,674人</td> <td style="text-align: right;">73,064人</td> </tr> <tr> <td>根来テニスコート</td> <td style="text-align: right;">12,405人</td> <td style="text-align: right;">13,547人</td> </tr> <tr> <td>若もの広場ナイター</td> <td style="text-align: right;">13,208人</td> <td style="text-align: right;">15,065人</td> </tr> <tr> <td>根来テニスコートナイター</td> <td style="text-align: right;">1,381人</td> <td style="text-align: right;">1,221人</td> </tr> <tr> <td>大宮緑地総合運動公園</td> <td style="text-align: right;">71,466人</td> <td style="text-align: right;">74,772人</td> </tr> <tr> <td>市民プール</td> <td style="text-align: right;">14,981人</td> <td style="text-align: right;">10,612人</td> </tr> <tr> <td>トレーニングジム</td> <td style="text-align: right;">43,562人</td> <td style="text-align: right;">32,699人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">312,179人</td> <td style="text-align: right;">394,518人</td> </tr> </tbody> </table>			施設利用者数	(令和元年度)	(平成30年度)	総合体育館	57,175人	80,164人	市立体育館	42,327人	48,374人	スポーツ広場	55,674人	73,064人	根来テニスコート	12,405人	13,547人	若もの広場ナイター	13,208人	15,065人	根来テニスコートナイター	1,381人	1,221人	大宮緑地総合運動公園	71,466人	74,772人	市民プール	14,981人	10,612人	トレーニングジム	43,562人	32,699人	計	312,179人	394,518人
施設利用者数	(令和元年度)	(平成30年度)																																		
総合体育館	57,175人	80,164人																																		
市立体育館	42,327人	48,374人																																		
スポーツ広場	55,674人	73,064人																																		
根来テニスコート	12,405人	13,547人																																		
若もの広場ナイター	13,208人	15,065人																																		
根来テニスコートナイター	1,381人	1,221人																																		
大宮緑地総合運動公園	71,466人	74,772人																																		
市民プール	14,981人	10,612人																																		
トレーニングジム	43,562人	32,699人																																		
計	312,179人	394,518人																																		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																																		
事業課題等	体育館施設に不備があった場合には、業者からの報告書を精査し、修理等の必要があれば、緊急性を考慮し、突発修繕、補正対応、次年度対応を行う。施設の老朽化による修繕については優先順位により実施し、施設利用者が安全に利用できるよう対応する。																																			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																																		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進	【重点施策】 スポーツ環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	スポーツ施設整備事業		
事業の目的	市民の方々に、安全かつ快適に施設を利用してもらう。		
事業概要	施設の整備・点検・改修工事等を実施		
目標 (評価指標)	なし	理由	修繕や工事の類を事業としているため
達成状況	<p>当初予定の工事については、予定通り実施。 突発的な修繕が必要とならないよう、日常的に点検を行っている。</p> <p>工事実績 別紙 修繕実績 別紙</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>施設の老朽化に伴い、修繕箇所が増えてきており、早期の対応が必要。 大規模なものについては、年次的な対応が必要。工事施工にあたっては、内容を工事看板等により周知し、施設利用者や市民に迷惑をかけないようにする。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

達成状況	工事実績	
	大宮緑地総合運動公園法面草刈工事	1,566,000円
	新池(根来)伐竹工事	1,815,000円
	交通公園剪定工事	814,000円
	交通公園自販機撤去工事	38,500円
	計	4,233,500円
	修繕実績	
	大宮緑地テニスコート防球ネット修繕	194,400円
	若もの広場トイレ漏水修繕	44,280円
	大宮緑地総合運動公園漏水修繕	354,240円
	岩出市立体育館壁修繕	48,600円
	岩出市民総合体育館大型可動間仕切修繕	831,600円
	消火水槽警報ユニット修繕	10,508円
	トレーニングルーム機器修繕	241,100円
	総合体育館洗浄水用加圧ポンプ修繕	2,646,000円
	総合体育館1F男子トイレ詰まり修繕	35,200円
	大宮緑地総合運動公園テニスコート番号表示板取付	22,000円
	総合体育館2F男子トイレ・大宮仮設トイレ漏水修繕	30,470円
	岩出市立体育館バレーボール支柱床止金具修繕	837,100円
	計	5,295,498円

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 生涯学習できるまち	
	【基本施策】 生涯スポーツの推進		【重点施策】 スポーツ環境の充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課	
事業名	スポーツ教室事業			
事業の目的	スポーツ教室開催により、スポーツの楽しさを伝えるとともに、健康等体力の増進を図るとともに、コミュニティーの場を提供する。			
事業概要	健康体力の増進及びふれあいの場の提供			
目標 (評価指標)	親子体操教室 ヨガ教室 エアロビクス教室	100組 60名 60名	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	<p>ヨガ教室、エアロビクス教室とも、気軽かつ楽しく参加できる取り組みとして、市民の健康増進や交流の場として貢献できた。</p> <p>親子体操教室は、親と子がコミュニケーションを取りながら運動することができるとともに、3歳児をもつ親たちの交流の場となった。</p> <p>親子体操(定員なし) 水曜日コース: 全20回開催 35組70名参加 木曜日コース: 全20回開催 34組68名参加 ヨガ教室(定員60名) 全10回開催 60名参加 エアロビクス教室(定員80名) 全10回開催 53名参加</p>			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	<p>親子体操教室については、例年、3才児世帯宛てに案内文を直接送付し、参加を促してきたところであり、本年度については、505世帯への送付に対し69組(世帯)の参加が得られ、受講率は、13.6%であった。</p> <p>市広報紙・ウェブサイト、幼少期における親子のふれあいの大切さを啓発する記事掲載を行うなど、より効果的な参加者の募集方法について検討を要する。</p> <p>ヨガ教室・エアロビクス教室については、概ね好評で気軽さという点で適当であると考えられるが、多様化するニーズに応えられるよう、他の新たな種目の導入についても検討が必要である。</p>			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 文化・芸術活動の活性化	【重点施策】 文化活動の推進	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	文化祭事業		
事業の目的	市民文化の一層の発展と充実を図るため、文化活動の成果を発表する機会を設け、文化活動の振興と普及を図るとともに参加を通じて薫り高い文化への理解を深め、心がふれあう活力あふれるまちづくりを推進します。		
事業概要	日時:令和元年11月2日(土)～11月3日(日) 場所:市民総合体育館ほか 内容:(テーマ「ひろげよう みんなの文化 いわでの歴史」) ○作品展示 ○芸能発表 ○各種イベントコーナー		
目標 (評価指標)	入場者人数 —	19,900名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】
達成状況	日時:令和元年11月2日(土)～11月3日(日) 場所:市民総合体育館ほか 入場者人数:20,557名 内容:(テーマ「ひろげよう みんなの文化 いわでの歴史」) ○一般作品出展数 433点 ○そうへいちゃん作品 18点 ○根来寺等建造物作品 15点 ○芸能発表 (文化協会・幼稚園・保育園・保育所) ○各種イベントコーナー ・囲碁将棋大会 ・お茶席 ・生花体験 ・陶芸体験 ・発明クラブ ・黒アワビ茸ふるまい ・ふれあいの広場 平成30年度入場者人数:18,232名 平成29年度入場者人数:4,475名(台風接近により二日目中止) 平成28年度入場者人数:18,103名		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	参加者人数と展示出品数を増やすために、一人1点を令和元年度から一種目1点に変更したが、出品規定の改正が全体に行き渡ったとは言い難い。平成30年度に市外からの出品についても可能としてから3年目で県外から出品する方もいたため、一種目1点の規定変更が出品者に浸透するよう周知が必要である。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 文化・芸術活動の活性化		【重点施策】 公民館事業の充実・文化活動の推進	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課	
事業名	公民館講座・公民館フェア事業			
事業の目的	気軽に参加し、講座を通して想像力等を育て、友達作りや市民の交流の場をつくることを目的に、各種講座を開催する。公民館文化教室、公民館利用サークルによる成果発表の場の提供と、市民のふれあいの機会をつくることを目的とする。			
事業概要	公民館講座: 夏休み、冬休みの子ども向け講座の開催。冬の一般向け講座の開催。 公民館フェア 日時: 令和2年3月1日(日)→中止 場所: 岩出市総合保健福祉センター 内容: (「岩出市民ふれあいまつり」と同時開催) ○公民館コンサート ○公民館ギャラリー ○公民館チャリティー			
目標 (評価指標)	入場者人数等 —	公民館講座 274名 公民館フェア—2,000名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】	
達成状況	【公民館講座】 ・夏の子ども講座(サマークッキング) 募集(6/14各小学校にチラシ配布) 申込締切7/3 募集結果(定員オーバーは抽選により決定) 7・8月に実施 目標(募集定員) 152名 応募人数 273名 受講人数 152名 ・冬の子ども講座(親子クッキング) 募集(12/4各小学校にチラシ配布) 申込締切12/19 1月に実施 目標(募集定員) 72名 応募人数 115名 受講人数 80名 ・親子ワールドキッチン 1月に実施 募集(12/4各小学校にチラシ配布) 申込締切12/19 2月に実施 目標(募集定員) 15組(30名) 応募人数 19組(43名) 受講人数 15組(34名) ・公民館講座(一般)「ピラティス入門」 講座日3/16 1月公民館チラシ配布・広報募集・ウェブ・行政情報 目標(募集定員) 20名 応募人数 27名 新型コロナ対策のため中止 4講座合計 目標(募集定員) 274名 受講人数 266名(ピラティス除く) 【公民館フェア】 日時: 令和2年3月1日(日) 新型コロナウィルス対策のため中止 場所: 岩出市総合保健福祉センター			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下		
事業課題等	公民館フェアへの参加者増加			
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」		

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち																					
	【基本施策】 文化・芸術活動の活性化	【重点施策】 文化活動の推進																					
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課																				
事業名	文化協会助成事業																						
事業の目的	文化振興・文化交流に資する団体への助成																						
事業概要	岩出市文化協会への助成																						
目標 (評価指標)	会員数 —	900名 —	長計後期【平成32年度】 地方創生【平成31年度】																				
達成状況	<p>事業計画に沿った事業の推進を図り、会員相互の交流と各クラブの活動助成を実施することにより、市の文化活動の発展に寄与することができた。</p> <p>(文化協会事業実施状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会の開催(平成31年4月18日) ・理事会(年2回)、常任理事会(年4回)の開催 ・民俗資料館等で作品展示 俳画クラブ、文協俳句会、墨友会、岩出おし花クラブ、絵手紙愛好会 華道クラブ、洋画サークル i (中止) ・会員研修の実施 ・補助金の交付 ・文化祭の後援 ・会報の発行 <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td>令和元年度</td> <td>会員数</td> <td>820名</td> <td>クラブ数</td> <td>37クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>会員数</td> <td>873名</td> <td>クラブ数</td> <td>40クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>会員数</td> <td>916名</td> <td>クラブ数</td> <td>43クラブ</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>会員数</td> <td>968名</td> <td>クラブ数</td> <td>42クラブ</td> </tr> </table>			令和元年度	会員数	820名	クラブ数	37クラブ	平成30年度	会員数	873名	クラブ数	40クラブ	平成29年度	会員数	916名	クラブ数	43クラブ	平成28年度	会員数	968名	クラブ数	42クラブ
令和元年度	会員数	820名	クラブ数	37クラブ																			
平成30年度	会員数	873名	クラブ数	40クラブ																			
平成29年度	会員数	916名	クラブ数	43クラブ																			
平成28年度	会員数	968名	クラブ数	42クラブ																			
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下																					
事業課題等	<p>会員の高齢化と会員数の減少が深刻であり、成果発表として文化祭や民俗資料館での作品展示などPRを行っているが、運営を各クラブのクラブ員に委ねているため、積極的な会員確保に結びついていない。</p> <p>高齢者の比率が高く、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症の影響で公民館活動の自粛等により活動が減少するクラブもあり、新たなクラブ員の確保には至っていない。</p>																						
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」																					

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興	【重点施策】 歴史的文化資源の活用	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	国史跡根来寺境内周辺保全管理事業		
事業の目的	平成25年度に実施した保存管理計画事業を引き継ぎ、事業効果を総合的・多面的に評価しながら史跡根来寺境内周辺の保全・管理を図る。		
事業概要	史跡根来寺境内とその周辺について、検討を要する事案が生じた時に、必要に応じて委員会を開催し、委員の指導助言を参考に適正な保全を図る。		
目標 (評価指標)	なし	理由	具体的な史跡等の整備目的の事業でないため
達成状況	<p>国史跡根来寺境内とその周辺において、検討を要する事案について各委員と個別に協議や意見交換等を行い、必要に応じて委員会を開催し、史跡根来寺境内周辺保全管理について検討することができた。</p> <p>○令和1年度に開催した保全管理委員会議の主な議事について</p> <p>・国史跡根来寺境内周辺保全管理について</p> <p>該当する事業計画について、岩出市並びに根来寺からだされた計画について保全管理委員と個別に意見交換し、その内容について検討を行った。</p> <p>また、必要に応じて現地視察を兼ねて委員会を開催し、史跡根来寺境内の周辺保全管理についての検討を行った。</p> <p>委員の指導・助言を参考に、旧和歌山県会議事堂(一乗閣)用地の保存整備、根来寺整備計画として本坊の新築計画、岩出市観光拠点事業としてサインの計画について検討することができた。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>史跡の適切な保存と活用について、史跡根来寺境内とその周辺の将来を展望した整備の検討が必要。引き続き、委員会の助言を受けながら関係機関との密なる連携と情報の共有を図り対応していく。</p> <p>また、根来寺境内の私有地の取り扱いについては、無秩序な開発の防止や良好な景観の保全を促す必要があり、そのルール作りを検討していかなければならない。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興	【重点施策】 歴史的文化資源の活用・埋蔵文化財等の保護・活用	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	文化遺産保存活用事業		
事業の目的	岩出市内に所在する文化遺産の保存と活用を図る。		
事業概要	指定文化財等の保存及び活用に必要な経費の一部を補助する。文化遺産の保存・活用のための必要な措置を講じる。埋蔵文化財等の公開・活用を行う。		
目標 (評価指標)	なし	理由	管内に所在する文化遺産の保存と活用を図ることを目的とする事業であり、目標値の設定に適しないため。
達成状況	<p>【指定文化財管理補助】</p> <p>上岩出神社(県指定) 29,000円 自動火災報知設備点検、消火器設備点検 増田家(国指定) 68,000円 防災施設保守点検、民家の環境整備 しだれ桜(市指定) 150,000円 しだれ桜の樹勢維持管理</p> <p>〔線越事業 H30〕 災害復旧事業 根来寺境内歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業史跡根来寺境内 962,000円 国宝(建造物)根来寺多宝塔(大塔)保存修理事業根来寺多宝塔(大塔) 244,000円 国宝(建造物)根来寺多宝塔(大塔)保存修理事業根来寺多宝塔(大塔) 807,000円</p> <p>【未指定文化財調査保存活用】 地域資源(地域にある自然、文化、歴史)や未指定文化財の調査を継続し、必要なデータを収集・整理し、保護資料の作成につとめた。 ・「葛城修験の道」の調査 → 文化庁選定歴史の道百選「葛城修験の道」 選定日: 令和元年10月29日 ・岩出市指定文化財の指定 大日寺石造宝塔(伝妙海尼供養塔) 指定日: 令和元年12月11日</p> <p>【埋蔵文化財活用】 ねごろ歴史資料館への展示資料提供を行う。 根来寺遺跡出土遺物の展示 ・考古資料の展示替え(借用資料の返却・資料の借用) ・根来寺遺跡出土遺物の展示(コーナー展示) 「名勝根来寺庭園～名勝指定から60年～」 ・パネル展示「ふるさとの宝～岩出の文化財(建造物編)～」 岩出市文化祭での展示 ・「根来寺建造物(6棟)重要文化財指定記念 ふるさとの宝～岩出の文化財(建造物編)～」 ・「文化庁 記念物100年展示」</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	文化遺産の状況の確認を定期的に行うとともに、文化財所有者並びに管理者との連携を図り、適切な対応と、文化遺産の普及・啓発に努める。 個人所有者の高齢化で指定文化財の維持管理が困難となってきたため、保存、活用に係る支援が必要となっている。指定文化財の適切な維持・管理の方法と保全のための対策が必要。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり		【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興		【重点施策】 伝承文化の継承
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	根来の子守唄保存事業		
事業の目的	古くから唄い継がれてきた「子守唄」の貴重な文化遺産を末永く後世に引き継ぎ、地域文化の発展に寄与することを目的とする。		
事業概要	市民や各種団体との協働による様々な事業を通して、文化資源の普及・啓発に努める。		
目標 (評価指標)	なし	理由	市民や各種団体との協働による様々な事業を通して、文化資源の普及・啓発に努めている事業であり、目標値の設定に適さないため。
達成状況	<p>ふるさとに伝わる文化遺産(民話・伝承・子守唄など)を題材に、伝承などの語りや音楽をとおしてふるさとの魅力を伝えるため、市民や各種団体との協働により開催を計画していたが、県内においてコロナ感染者が確認されたため、今年度の開催は中止となった。</p> <p>タイトル「ふるさと感動物語～ふれあいファミリーコンサート」(開催中止) 入場者人数: 一名</p> <p>【内容】 第1部 朗読劇「住蛇が池の花嫁」、子守唄「根来の子守唄」、箏「春の海、六段調べ」 ほか 第2部 コンサート「アイネ・クライネ・ナハトムジーク・ふるさとの四季」ほか 出演者 いわでチェンバーアンサンブル、根来の子守唄保存会、朗読グループ岩出やよい会</p> <p>【その他】 アンケート未実施 昨年度の実践を活かし、地域で活動されている方々との協働で事業を計画していたが、コロナ禍により開催することができなかった。次年度、この内容を元に、普及・啓発活動を行っていく予定。</p> <p>(根来の子守唄保存会活動実績) 会員数23名 ・毎月1回の練習 ・各小学校の指定日での指導(放課後子ども教室) ・市の行事、各種イベントの出演要請による参加 ・伝承者育成のための事業 令和1年度 年間38回実施 平成30年度 年間35回実施</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	これまでの実践を活かしながら伝統文化の保存・継承に努めていくため、新しい視点に立った活動内容の検討が必要。また、根来の子守唄を継承していく情熱を持った人材が1名加わったが、高齢化に伴い、指導者の減少と受け継ぐ側の人材の確保が課題である。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 人権が尊重されるまち	
	【基本施策】 人権尊重の推進	【重点施策】 人権尊重の意識醸成	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	生涯学習課
事業名	人権啓発事業		
事業の目的	人権尊重思想の普及高揚を図り、市民に人権問題に対する正しい認識を広め、また未来を担う子どもたちが「心豊かで思いやりのある子ども」に育つことを願い、人権意識を高める。		
事業概要	人権講演会、保護者学級、小・中学生人権作文、人権ポスター		
目標 (評価指標)	なし	理由	人権に関連したテーマで講演会を市長公室・スポーツ健康係・図書館で持ち回り実施している事業であり、目標設定数値化が困難なため
達成状況	<p>人権講演会 人権問題に対する正しい認識を広めるため、講師に口承文芸学者 小澤 俊夫氏を迎え岩出図書館と共催し人権講演会を開催(法務省人権啓発講演会) 参加者 85名</p> <p>保護者 1年を通じ、年3回市内各小学校で保護者学級を開設する。</p> <p>小中学校 人権をテーマにしたポスターや小・中学生の人権作文集を作成し、市民の人権意識の向上を図る。</p> <p>小・中学生人権作文、人権ポスター 各小・中学校「作文集掲載作文」 24点(各校3点) 人権ポスターコンテスト応募作品 216点(各小学校30点、二中6点) 人権作文集4,830冊発行</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>市民の人権意識の向上を図るため、社会情勢・実情を踏まえた案件を取り入れるなど市民ニーズに即した講演会出演者の選考、開催方法の検討を要する。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策と活動の実施</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

達成状況

【報道機関等への情報提供】

新聞社、テレビ局、ラジオ局、タウン誌などにイベントの情報提供を行った。75件
(前年度72件)

【岩出市文化文教ゾーン連絡協議会】

根来周辺にある施設(道の駅「ねごろ歴史の丘」・旧和歌山県議会議事堂(一乗閣)・民俗資料館・根来寺・緑花センター・根来げんきの森・近畿大学生物理工学部・岩出図書館)が連携し、各施設の利用促進・観光振興を図るため、令和2年度に国の重要文化財に指定された根来寺6棟に関する講演会の開催と、近畿大学生物理工学部の公開講座の共催での開催が決まっていたが、新型コロナウイルスの影響で、講演会は延期、公開講座は中止となった。

入館者数・貸出冊数

入館者数が全館・室で前年度実績より減少している。長期総合計画後期計画、令和元年度図書館評価目標値とも達成できなかった。貸出冊数は、駅前ライブラリー・総合保健福祉センター図書室では前年度実績を上回るも、全体では減少している。長期総合計画後期計画、地方創生の目標値は達成しているが、令和元年度図書館評価目標値は達成できなかった。新型コロナウイルス感染症の影響が減少した理由の一つと考えている。

	入館者数(人)		貸出冊数(冊)	
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度
岩出図書館	160,040	165,994	384,945	389,447
駅前ライブラリー	10,337	10,879	14,608	14,283
総合保健福祉センター図書室	18,774	18,870	21,009	20,819
中央公民館図書室	1,158	1,468	538	587
上岩出地区公民館図書室	834	1,033	774	1,055
計	191,143	198,244	421,874	426,191

目標達成率 93.8% 96.8%

評価

b

a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下

事業課題等

今後もイベントを企画しても、情勢により中止となる場合が考えられる。例年実施している時期と違う時期にずらすことができるものは、できるだけ開催できるように、情勢を見ながら、開催時期を検討する必要がある。

また、ここ数年来、上岩出地区公民館図書室の利用減少が続いているので、所蔵する雑誌を利用者傾向に合うものに見直し、利用者の増加を図る。

さらに、令和2年4月から、岩出図書館の国民の祝休日の振替休館を廃止し、開館日数を増やし、利用者の利便性を向上させることにより、全館・室の利用増加を図る。

今後の方向性

継続

「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	生涯学習できるまち	
	生涯学習の充実	図書館事業の充実(図書館運営事業)	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	岩出図書館
事業名	図書館ボランティア活動支援事業		
事業の目的	図書館ボランティアの協力を得て各種の講座や催しを行っており、ボランティア活動の活性化を図るため様々な支援を行う。		
事業概要	ボランティアの募集・登録、養成講座の実施 高校生ボランティアの募集・登録及び活動支援(書架整理・映画会・おはなし会・美化活動・図書の補修等)		
目標 (評価指標)	ボランティア登録人数	長計後期【平成32年度】80名 地方創生【平成31年度】 -	
達成状況	<p>【図書館ボランティア登録者数】 3月末現在 81名 目標達成率101.3% 【養成講座】3回 参加者46名 4/17 図書館ボランティア養成講座「ストーリーテリング講座」(第3回) 参加者 16名 6/5 図書館ボランティア養成講座「ストーリーテリング講座」(第4回) 参加者 14名 6/12 図書館ボランティア養成講座「ストーリーテリング講座」(第5回) 参加者 16名</p> <p>【図書館ボランティアの活動内容】 おはなしドロップス ・おはなし会 22回開催 2回中止 ・子育て支援センターおはなし会 12回 ・ 訪問おはなし会 3回 ・壁面飾りの作成 ・学童保育への読み聞かせ(各ホープ 毎月) ・図書館まつりおはなしドロップスによるイベント(むかしむかしのおはなし・ ワークショップ「自分だけのあおむしをつくろう」【中止】</p> <p>おはなしのとびら ・おはなし会 22回開催 2回中止 ・訪問おはなし会 3回 ・大人のための絵本の読み語り(朗読グループ「岩出やよい会」)1回 ・対面朗読(朗読グループ「岩出やよい会」) 7回</p> <p>英語でおはなし会 ・おはなし会 2回開催 1回中止</p> <p>おはなしのじかん ・おはなし会 3回開催 1回中止</p> <p>映画会グループ ・映画会 3回開催 1回中止</p> <p>展示グループ ・壁面飾りの製作 ・図書館まつりおはなし室開放(壁面飾り展示・おりがみ教室) 【中止】</p>		

達成状況	<p>創作グループ ・布絵本の製作 ・図書館まつりおはなし室開放(布絵本展示)【中止】</p> <p>補修グループ ・補修、本の装備等 毎週1回</p> <p>PRグループ ・ボランティア主催映画会のチラシ作成 4回</p> <p>インフォメーショングループ ・親子で夜の図書館ツアー ・岩出小学校3年生図書館見学 2回</p> <p>ストーリーテリンググループ ・上岩出小学校でのストーリーテリング 2回</p> <p>【功績・その他】 4/19 図書館ボランティア交流会 参加者 15名</p> <p>【高校生ボランティア】 7/20~8/19 高校生ボランティア受入 那賀高校16名 粉河高校6名 開智高校 1名 計23名</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	<p>図書館ボランティア養成講座を開催し、新しいジャンルであるストーリーテリンググループができ、新規のボランティア登録者が増えたが、図書館ボランティア全体が高齢化してきているので、さらに新規加入を図る必要がある。</p>		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	生涯学習できるまち																															
	生涯学習の充実	図書館事業の充実(図書館運営事業)																															
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	岩出図書館																														
事業名	図書館図書購入事業																																
事業の目的	地域密着型図書館として、愛され親しまれ、幼児から高齢者の利用が多い図書資料の収集から、図書館に行けばなんでも調査研究ができるように、各分野に亘って広く購入することで、図書資料の充実を図る。																																
事業概要	図書館法第3条並びに岩出図書館基本計画に基づく、図書購入。 目標(岩出図書館蔵書数30万冊 開架10万冊・閉架20万冊)																																
目標 (評価指標)	岩出図書館蔵書冊数 30万冊目標 令和元年度図書館評価目標値 全館・室蔵書冊数 326,000冊 郷土資料冊数4,500冊 CD点数2,175点 DVD2,796点																																
達成状況	令和元年度図書購入・視聴覚資料																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>発注予定冊数(冊)</th> <th>発注冊数(実績)(冊)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">図書</td> <td>一般図書</td> <td>7,320</td> <td>7,581</td> </tr> <tr> <td>児童図書</td> <td>3,700</td> <td>3,851</td> </tr> <tr> <td>参考図書</td> <td>180</td> <td>261</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,200</td> <td>11,693</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">視聴覚資料</td> <td>CD</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>200</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td></td> <td>11,400</td> <td>11,893</td> </tr> </tbody> </table>					発注予定冊数(冊)	発注冊数(実績)(冊)	図書	一般図書	7,320	7,581	児童図書	3,700	3,851	参考図書	180	261	計	11,200	11,693	視聴覚資料	CD	100	100	DVD	100	100	計	200	200	総計		11,400
		発注予定冊数(冊)	発注冊数(実績)(冊)																														
図書	一般図書	7,320	7,581																														
	児童図書	3,700	3,851																														
	参考図書	180	261																														
	計	11,200	11,693																														
視聴覚資料	CD	100	100																														
	DVD	100	100																														
	計	200	200																														
総計		11,400	11,893																														
<p>令和元年度末蔵書冊数</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">一般書</td> <td style="text-align: right;">217,164冊</td> <td style="width: 50%;">郷土資料</td> <td style="text-align: right;">4,397冊</td> </tr> <tr> <td>児童書</td> <td style="text-align: right;">88,015冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参考図書</td> <td style="text-align: right;">6,357冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>視聴覚資料</td> <td style="text-align: right;">5,371点(CD2,163点・DVD2,752点・他456点)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑誌</td> <td style="text-align: right;">9,963冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>複製画</td> <td style="text-align: right;">52冊</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: right;">326,922冊</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				一般書	217,164冊	郷土資料	4,397冊	児童書	88,015冊			参考図書	6,357冊			視聴覚資料	5,371点(CD2,163点・DVD2,752点・他456点)			雑誌	9,963冊			複製画	52冊			計	326,922冊				
一般書	217,164冊	郷土資料	4,397冊																														
児童書	88,015冊																																
参考図書	6,357冊																																
視聴覚資料	5,371点(CD2,163点・DVD2,752点・他456点)																																
雑誌	9,963冊																																
複製画	52冊																																
計	326,922冊																																

達成状況	<p>館・室別蔵書冊数</p> <table border="0"> <tr> <td>岩出図書館</td> <td>287,944冊</td> </tr> <tr> <td>駅前ライブラリー</td> <td>22,040冊</td> </tr> <tr> <td>総合保健福祉センター</td> <td>11,162冊</td> </tr> <tr> <td>中央公民館</td> <td>3,226冊</td> </tr> <tr> <td>上岩出地区公民館</td> <td>2,550冊</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>326,922冊</td> </tr> </table> <p>目標達成率 蔵書冊数100.3% 郷土資料97.7% CD99.4% DVD98.4% 全体の蔵書冊数は目標値を達成できたが、CD・DVD、郷土資料は目標値を達成することができなかった。 CD・DVDは予定枚数を購入しているが、破損したものを除籍したため、目標値に達しなかった。</p>			岩出図書館	287,944冊	駅前ライブラリー	22,040冊	総合保健福祉センター	11,162冊	中央公民館	3,226冊	上岩出地区公民館	2,550冊	計	326,922冊
岩出図書館	287,944冊														
駅前ライブラリー	22,040冊														
総合保健福祉センター	11,162冊														
中央公民館	3,226冊														
上岩出地区公民館	2,550冊														
計	326,922冊														
評 価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下													
事業課題等	令和3年度に岩出図書館の蔵書目標冊数30万冊に達する予定なので、今後新たな蔵書目標冊数の設定と収集の仕方の検討をする必要がある。														
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」													

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	生涯学習できるまち	
	生涯学習の充実	図書館事業の充実(子どもの読書活動の推進)	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	岩出図書館
事業名	子ども読書活動推進事業(青少年読書推進事業)		
事業の目的	青少年健全育成の観点から、児童、青少年に図書館を活用し本の魅力を知ってもらうため、読書活動を推進する。		
事業概要	日本版や外国版絵本の収集やおはなし会を開催。 ヤングアダルトコーナーを設置し資料の充実を図る。 子ども読書活動推進計画を策定し、子ども読書活動の推進事業として、子どもの読書活動を応援するとともに、読書活動への関心と理解を深めるよう取り組む。		
目標 (評価指標)	児童書蔵書冊数 令和元年度図書館評価目標値 87,900冊	長計後期【平成32年度】91,000冊 地方創生【平成31年度】87,480冊	
達成状況	<p>【イベント】 11回開催 参加者821名 テラスであそぼう 2回開催 子ども59名 大人38名 計97名 親子で夜の図書館ツアー 子ども34名 大人31名 計65名 みんなで書いてみよう!～ちよっとのテクニックでぜんぜんちがう読書感想文～ 子ども37名 保護者27名 計64名 ゆかいな二中読書部によるお話会 3回開催 子ども22名 大人27名 計49名 中学生ビブリオバトル 岩出市大会 バトラー7名 オーディエンス66名 計73名 高校生ビブリオバトル 岩出市大会 バトラー5名 オーディエンス34名 計39名 図書貸出用福ブックロ(福袋)コーナー 岩出174セット 駅前30セット あいあい45セット貸出 計249セット</p> <p>Book Bingo! 185名 おはなしドロップスのイベント 中止 おはなし室開放(壁面飾り・布絵本の展示・おりがみ教室)中止 イベントスタンプラリー 中止</p> <p>【図書館見学】 14回 参加者786名 保育所 1回 園児46名 引率6名 小学校 11回 児童467名 引率41名 中学校 2回 生徒214名 引率12名</p> <p>【職場体験】 中学校 3校 5名 【訪問おはなし会】 保育所(園) 6園 子ども560名 保護者562名 計1,122名 【ストーリーテリング】上岩出小学校1～3年 1回 児童181名 4～6年 1回 児童207名</p> <p>【展示】 4回 日本絵本賞受賞作品展 国語の教科書にのっている本の特別展示 第23回図書館を使った調べる学習コンクール・岩出市地域コンクール受賞作品展示 25作品</p> <p>「科学道100冊ジュニア」図書展示</p>		

達成状況

【おはなし会】72回 参加者1,403名
 岩出図書館 57回開催 子ども661名 大人361名 計1,022名 6回中止
 総合保健福祉センター図書室 3回 子ども28名 大人22名 計50名 1回中止
 子育て支援センターおはなし会 12回開催 子ども164名 大人167名 計331名
 【家族ふれあい読書推進事業】
 市内小学校の新小1に「うちどくノート」を、新小4に「ブックリスト」を配付、
 新中1に「ブックリスト」を配付
 うちどくクイズの実施 参加者44名
 「うちどくの記録」展示 市内小学校就学時健診でのうちどくPR 6校 保護者498名
 【親子読書支援事業】
 毎月 1歳8か月健診対象者への通知を送付、親子読書支援事業の絵本引き換え等
 4月～3月の健診対象者424名中 受取済み180名
 過年度対象者で令和元年度受取済み50名
 【岩出図書館司書派遣事業】
 年間37日 各小中学校に司書派遣
 学校司書の業務内容を書いたプリントを市内小中学校、全教員に配付
 学校とヒアリング 2回(合同・個別) 学校司書勉強会・研修会 2回
 【その他】
 随時 岩出市内小中学校に図書館イベント案内を配布
 市内小中学校に「国語の教科書にのっている本のブックガイド」配布

児童書蔵書冊数・
 児童(0～18歳)への貸出冊数

	児童書蔵書冊数(冊)	児童への貸出冊数(冊)	(参考)全貸出冊数
岩出図書館	71,251	96,182	384,945
駅前ライブラリー	8,479	5,079	14,608
総合保健福祉センター図書室	5,904	11,249	21,009
中央公民館図書室	1,290	44	538
上岩出地区公民館図書室	1,091	44	774
計	88,015	112,598	421,874

(令和元年度末) 令和元年度 令和元年度
 目標達成率100.1%

評価

b a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下

事業課題等

家族ふれあい読書推進事業では、家庭での自主的な「うちどく」がまだ定着していない。自宅で過ごすことを余儀なくされる昨今の状況の中、家庭での「うちどく」の取組が、子どもたちの読書推進や家族とのコミュニケーションを図る上でも効果的であると考えるので、引き続き小学校の就学時健診で保護者にうちどくの啓発を行うとともに、図書館でのイベント等でも周知する。
 親子読書支援事業では、子ども・健康課から送付する1歳8か月児健康診査の通知に絵本の引換券を同封し、図書館へ来館してもらうよう当該事業対象者に周知しているが、令和元年度対象者の来館率は平成30年度対象者の来館率に比べ増加したものの、4割強にとどまっている。平成30年度対象のまだ来館していない対象者に再通知を送付した結果、50名の対象者が来館した。今後も、図書館イベントではもちろんのこと、子育て支援センターや子ども・健康課と連携しながら、さらにPRを図る。

今後の方向性

継続 「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 文化・芸術活動の活性化	【重点施策】 民俗資料館の整備・充実	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	民俗資料館
事業名	民俗資料館展観事業		
事業の目的	郷土の歴史に関する内容での展観事業を行うことにより、市民や次代を担う小・中学生に郷土の歴史の情報や学習の場を提供することを目的とする。		
事業概要	地域に即した内容で、興味を持っていただけるような展示を行う。所蔵品展・収集資料品展(根来漆器)・企画展・根来塗講座受講生作品展示・岩出市文化協会作品展示・特別展を開催する。		
目標 (評価指標)	秋季企画展参加人数	長計後期【令和2年度】	7,600人 地方創生【令和元年度】 7,450人
達成状況	<p>収集資料品展「集まった根来漆器」 会期：平成31年4月1日～令和2年3月30日 目標人数：43,000人 入館者数：43,967人(30年度実績 40,087人) 根来寺所蔵宝物展「天野山金剛寺と中世根来寺」 会期：平成31年4月1日～令和元年5月6日 目標人数：7,000人 入館者数：10,647人 秋季企画展「根来寺の歴史と文化財-建物を中心として-」 会期：令和元年11月1日～12月9日 目標人数：7,800人 入館者数：9,766人 民俗資料館所蔵品展「昔のくらしと道具-素材と技-」 会期：令和2年1月15日～2月24日 目標人数：3,500人 入館者数：3,386人 根来塗講座受講生作品展示 会期：令和2年3月21日～4月7日(会期途中で中止) 目標人数：6,500人 入館者数：3,012人 岩出市文化協会作品展示 6クラブ 目標人数：6,000人 入館者数：3,829人 俳画クラブ 会期：令和元年6月2日～6月14日 入館者数：1,063人 文協俳句会 会期：令和元年6月16日～6月28日 入館者数：1,145人 岩出おし花クラブ 会期：令和元年9月29日～10月3日 入館者数：425人 墨友会 会期：令和元年10月5日～10月13日 入館者数：1,196人 洋画サークル 会期：令和2年3月1日～3月7日 中止 華道クラブ 会期：令和2年3月14日～3月15日 中止</p> <p>広報活動の取組み 前年度までの市公共施設や近隣市の資料館等へのポスター・チラシの掲示等の依頼、市広報・ウェブサイト・岩出図書館のデジタルサイネージへの掲載、報道機関への情報提供に加え、本年度はデータ放送や行政情報の放映、所蔵品展については高齢者福祉施設に限定したが、近隣市の図書館等の社会教育施設にポスターの掲載の依頼などを行った。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した岩出市文化協会作品展示や会期中で中止した根来塗講座受講生作品展示を除くと、前年度の実績を上回った。さらに多くの方に入館していただくためには、新聞社等へチラシを送付するなど広報活動の充実が必要である。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

教育委員会の点検・評価シート(令和元年度事業)

岩出市長期総合計画に位置づけられている項目	第3章 笑顔あふれるまちづくり	【目標施策】 歴史を守り文化と国際化を育むまち	
	【基本施策】 歴史・伝統文化の振興	【重点施策】 歴史的文化資源の活用	
評価対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	担当課	民俗資料館
事業名	民俗資料館歴史学習・講座事業		
事業の目的	講演会や歴史講座とあわせて、職員等による歴史学習会を実施し、市民に様々な角度から郷土の歴史や成り立ちについて学びふれあう機会を提供する。		
事業概要	地域に即した内容で、各世代が興味を持って学ぶことができるようなテーマや講師を選定し、多くの市民の方に参加いただけるような講演会・講座・学習会を開催する。		
目標 (評価指標)	歴史講座2回の合計参加人数	長計後期【令和2年度】	地方創生【令和元年度】 130人
達成状況	<p>歴史講座(2回) 目標人数:160人 参加人数:164人 第1回 令和元年6月9日 テーマ「長谷寺と専營僧正」 目標人数:90人 参加人数:78人 第2回 令和2年2月9日 テーマ「中世城館跡から見た根来寺・根来衆の城」 目標人数:70人 参加人数:86人</p> <p>夏休み子ども歴史学習会(3回) 目標人数:132人 参加人数:137人 第1回 令和元年7月21日 テーマ「勾玉づくり」 参加人数:45人 第2回 令和元年7月28日 テーマ「埴輪づくり」 参加人数:46人 第3回 令和元年8月3日 テーマ「風鈴づくり等」 参加人数:46人</p> <p>冬の子ども歴史学習会 令和2年1月26日 テーマ「昔の暮らしの体験」 目標人数:40人 参加人数:31人</p> <p>秋季企画展講演会 令和元年11月9日 テーマ「根来寺伽藍復興と大伝法堂の空間」 目標人数:60人 参加人数:52人</p> <p>広報活動の取組み 前年度までの市公共施設や近隣市の資料館等へのポスター・チラシの掲示等の依頼、市広報・ウェブサイト・岩出図書館のデジタルサイネージへの掲載、報道機関への情報提供に加え、本年度はデータ放送や行政情報の放映などを行った。</p>		
評価	b	a 期待以上 b 期待どおり c やや下回る d 期待以下	
事業課題等	夏休み子ども歴史学習会では、1回を新しいテーマで実施することを課題として新たに「風鈴づくり等」を実施して申込者数は定員一杯となった。また、冬の子ども歴史学習会では、遊び道具を作る体験も取り入れて実施し、参加者数が増加した。今後も児童のニーズを十分に把握しながら、あわせて新しいテーマの検討も行い実施していく必要がある。		
今後の方向性	継続	「廃止」 「見直し」 「完了」 「継続」	

